

■第8次上山市振興計画 中間アウトカム指標一覧

基本施策	目標	目標値 (R9年度)	R6年度 実績	基本施策 所管課	施 策	中間アウトカム指標（単位）	R6年度 実績	所管課
1－1 子育て	「子育て環境が充実している」と 思う市民の割合	100%	37.0%	子ども子育て課	1－1－1 保育・子育てサービ スの充実	保育所及び放課後児童クラブの待機児童数（人）	0	子ども子育て課
						総合子どもセンターの年間利用者数（人）	85,344	
					1－1－2 子育て支援体制の 充実	かみのやま子育て応援アプリの登録者数（人）	473	子ども子育て課
						要保護児童対策地域協議会の進行管理ケースで支援 が終結した件数の割合（％）	39	
1－2 学校教育	「将来の夢や希望をもっている」と 回答する児童生徒の割合	100%	81.3%	学校教育課	1－2－1 豊かな感性と健やか な体の育成	QUアンケートにおいて児童・生徒が「学級での生活に満 足している」と回答した割合（％）	54	学校教育課
						体力テストにおいてB判定以上である児童・生徒の割合 （％）	31	
					1－2－2 魅力ある学校づくり の推進	N R T 検査において50以上である児童・生徒の割合 （％）	51	学校教育課
						児童・生徒が全国学力・学習状況調査において「学校に 行くのは楽しい」と回答した割合（％）	80	
					1－2－3 特色ある学校づくり の推進	学校評価において保護者が「特色ある教育活動が展開 されている」と回答した割合（％）	85	学校教育課
1－3 グローバル社会	「英語が好き」と回答する児童 生徒の割合	100%	67.2%	学校教育課	1－3－1 英語を通じたコミュニ ケーション能力の育成	英語検定受験料補助金を申請した生徒の割合（％）	6	学校教育課
						市英語教育推進委員会が実施する「英語についてのアン ケート」において「学習以外で日常的に英語を使う機会が 十分にあった」※1と回答した児童・生徒の割合 ※1 地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語のテ レビやホームページを見ると回答（％）	38	

■第8次上山市振興計画 中間アウトカム指標一覧

基本施策	目標	目標値 (R9年度)	R6年度 実績	基本施策 所管課	施 策	中間アウトカム指標（単位）	R6年度 実績	所管課
1－4 学校施設	「児童生徒にとって良好な施設 環境だと思う」と回答した保護 者の割合	100%	89.5%	教育企画課	1－4－1 学校施設等の適正 な維持管理と運営	環境改善のための工事を実施した学校の数（校）	1	教育企画課
						学校給食施設・設備等における食中毒や異物混入によ る事故発件数（件）	8	
					1－4－2 学校規模の適正化 の推進	学校規模適正化に係る会議等の参加人数（人）	216	教育企画課
1－5 社会教育	「どの世代でも学べる環境が 整っている」と思う市民の割合	100%	22.6%	生涯学習課	1－5－1 生涯学習環境の整 備	公民館事業へ参加した人数（人）	20,963	生涯学習課
						放課後子ども教室参加児童の満足度（%）	82	
					1－5－2 図書館機能の充実 と読書活動の推進	図書館の入館者数（人）	82,266	生涯学習課
						図書館での貸出冊数（冊）	81,688	
1－6 文化財・文化 芸術	「文化芸術活動が充実してい る」と思う市民の割合	100%	25.2%	生涯学習課	1－6－1 文化財愛護による 地域づくり	公開文化財施設の入館者数（人）	9,832	生涯学習課
						市民史跡※2保全活動参加者数 ※2 金山峠、檜下宿、土矢倉古墳（人）	82	
					1－6－2 文化芸術の環境づ くり	市総合文化祭来場者延べ人数（人）	5,650	生涯学習課
						斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール等における本市からの応募 数（首）	1,413	

■第8次上山市振興計画 中間アウトカム指標一覧

基本施策	目標	目標値 (R9年度)	R6年度 実績	基本施策 所管課	施 策	中間アウトカム指標（単位）	R6年度 実績	所管課
1－7 障がい者福祉	障がい者が地域で自立して暮らせる割合	100%	25.7%	福祉課	1－7－1 障がい者の自立支援と社会参加の推進	障害福祉サービスの利用割合（%）	24.1	福祉課
						就労支援施設等利用割合（%）	27.4	
1－8 低所得者福祉	生活困窮者等が地域で自立して暮らせる割合	100%	20.8%	福祉課	1－8－1 生活困窮者等の自立に向けた支援の推進	稼働収入増による自立世帯数の割合（%）	21	福祉課
1－9 シティプロモーション	「自分のまちを薦めたい」と思う市民の割合	100%	21.5%	観光・ブランド推進課	1－9－1 市民と仕掛ける戦略的シティプロモーション	SNS※3で投稿された上山市関連の情報数※3 XとInstagramにおいて「#上山市」で検索を絞る（件）	83,000	観光・ブランド推進課
						ふるさと納税返礼品を提供する事業者の参加継続率（%）	100	
1－10 国内外交流	「姉妹都市、友好都市等に親しみを感じる」と回答する市民の割合	100%	21.9%	庶務課	1－10－1 参加しやすい市民交流の実施	国内外の都市との交流事業参加者（人）	138	庶務課
1－11 多様性社会	「性に対する無意識な思い込みがない」と思う市民の割合	100%	35.8%	市政戦略課	1－11－1 多様性を認め合う社会の実現	市で設置する審議会等の女性割合（%）	23.1	市政戦略課
						市民のLGBTQの認知度（%）	66.2	

所属

子ども子育て課

振興計画

第1章 笑顔 「みんなが笑顔で輝けるまちをつくれます」
1-1 子育て

施策

1-1-1 保育・子育てサービスの充実

創生総合戦略

3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 安心して子育てできる仕組みづくり 保育等サービスの充実 3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 安心して子育てできる仕組みづくり 親子で過ごせる場の充実

方針

ニーズに対応した質の高い保育・子育てサービスの充実を図ります。

目標

1 保育サービスの充実

保育所や放課後児童クラブ等の保育ニーズを把握し、安全・安心な管理運営と人材確保を進め、必要な定員数の確保による待機児童の解消を継続します。

また、民間力の活用やICT化事業を推進するとともに、病児保育等の多様な保育サービスの充実を図ります。さらに、保育施設のあり方、放課後児童対策等を検討します。

2 子育てサービスの充実

総合子どもセンター「めんごりあ」は、指定管理者による安全・安心な管理運営や多彩な各種事業等により機能を充実させ、周辺自治体の施設との差別化を図りながら魅力的な施設づくりを進めます。また、地域全体で子育てを支援する仕組みづくりを進めるとともに、多子世帯の保育料軽減等の経済的支援を継続します。

実績

1 保育サービスの充実

- (1) 保育需要を把握しながら、各施設の運営や保育士確保に対する支援により必要な定員数を確保し、待機児童を0としました。また、今後5年間の保育の需要量を計画する「上山市子ども・子育て支援事業計画」を策定するとともに、市立保育園のみなみ保育園について、令和8年度での閉園を決定しました。
- (2) 公立の放課後児童クラブの民間委託による安定的な管理運営を行うとともに、民間立の放課後児童クラブに対する運営支援を実施し、民間の力も活用しながら、児童が安全安心に過ごせるように保育サービスの充実を図りました。
- (3) 病児保育については、事業者の運営を支援するとともに、事業者と連携し広域利用を含めた事業の周知・広報を行いました。

2 子育てサービスの充実

- (1) 総合子どもセンターについては、周辺自治体に類似施設がある中、当該施設の強みである低年齢児に特化した事業を行うなど、指定管理者と連携し各種事業を実施しました。
- (2) ファミリー・サポート・センターの利用助成や多子世帯の保育料軽減など、各種経済的支援を継続して実施しました。

中間アウトカム指標	単位	令和 6 年度実績	令和 7 年度実績	令和 8 年度実績	令和 9 年度実績
保育所及び放課後児童クラブの待機児童数	人	0	—	—	—
総合子どもセンターの年間利用者数	人	85,344	—	—	—

指標の変化に対する分析

待機児童 0 については、公立・民間立園の総力にて達成できたものです。また、総合子どもセンターの利用者数は、毎年、一定数の利用者を確保しております。

目標の実現に向けた今後の取組

総合子どもセンターについては、多彩なイベントや各種事業により機能充実を図り、利用者数の増加に努めます。また、多子世帯の保育料軽減等の経済的支援や保育サービスと子育て支援の充実により、子育てしやすい環境整備を進めます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	子ども子育て課	事業	児童福祉総務費	予算科目	01一般会計・03 民生費・02児童福祉費・01児童福祉総務費
施策	1－1－1 保育・子育てサービスの充実			創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 安心して子育てできる仕組みづくり 保育等サービスの充実

事業概要

児童福祉施策に係る企画調整や新たな保育・子育てサービスを推進するため、子育て応援プラン（子ども・子育て支援事業計画）の策定・推進、病児保育事業支援、子育て情報誌への広告掲載、その他総務費など、各種事業を実施します。

目的

子育て応援プランに基づき各種施策を実行するとともに、ニーズに合わせた効果的なマネジメントを実施するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	児童福祉施策に係る各種事業が推進している状態	各種事業が進捗している状態	各種事業を推進しました。
活動指標	子ども・子育て会議の開催回数	5 回	5 回
	子育て情報誌への広告掲載回数	3 回	4 回
事業費（千円）		20,435	18,636

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、子育て世代のニーズ把握や保育現場の声を聴きながら、子育て支援の推進を図ってまいります。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	子ども子育て課	事業	総合子どもセンター事業費	予算科目	01一般会計・03 民生費・02児童福祉費・01児童福祉総務費
施策	1－1－1 保育・子育てサービスの充実			創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 安心して子育てできる仕組みづくり 親子で過ごせる場の充実

事業概要

子育て支援の拠点として、指定管理による民間のノウハウを活かした安全・安心な施設管理や多彩なイベント等の各種事業により機能充実を図ります。また、SNSを活用した情報発信を強化するとともに、工夫を凝らした館内装飾や関係団体等との連携事業により周辺自治体の施設との差別化を図り、何度訪れても楽しめる魅力的な施設づくりを進めます。

目的

親子に遊び場等を提供するとともに、総合的な子育て支援を推進し、子育て環境の充実を図るため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	機能充実と他施設との差別化が図られている状態	機能充実と他施設との差別化が図られている状態	低年齢児を対象にした事業を行うなど、機能充実と周辺自治体の施設との差別化を図りました。
活動指標	開館日数	340 日	340 日
事業費（千円）		83,274	81,884

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

指定管理者と連携し、安全・安心な施設管理と多彩なイベントや各種事業により機能充実を図るとともに、工夫を凝らした館内装飾や関係団体等との連携事業により周辺自治体の施設との差別化を図り、何度訪れても楽しめる魅力的な施設づくりを進めます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	子ども子育て課	事業	保育所等管理運営費	予算科目	01一般会計・03 民生費・02児童福祉費・02児童措置費
施策	1－1－1 保育・子育てサービスの充実			創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 安心して子育てできる仕組みづくり 保育等サービスの充実

事業概要

公立保育所の安全・安心な管理運営やＩＣＴ化事業を推進するとともに、民間立保育所等に対する施設運営や保育士確保等の支援により、保育・子育てサービスの充実を図ります。

目的

保育・子育てサービスの充実を図り、子育てしやすい環境づくりを推進するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	待機児童が解消されている状態	待機児童がない状態	待機児童は発生しませんでした。
活動指標	市内保育所・認定こども園（2・3号認定）の利用定員数	605 人	605 人
事業費（千円）		765,068	730,726

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、待機児童が発生しないように保育量を確保してまいります。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	子ども子育て課	事業	放課後児童対策事業費	予算科目	01一般会計・03 民生費・02児童福祉費・02児童措置費
施策	1－1－1 保育・子育てサービスの充実			創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 安心して子育てできる仕組みづくり 保育等サービスの充実

事業概要

公立放課後児童クラブの民間委託による安全・安心な管理運営とプログラムの充実を図るとともに、民間立放課後児童クラブに対する運営支援により、学童保育サービスの充実を図ります。

目的

保育・子育てサービスの充実を図り、子育てしやすい環境づくりを推進するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	待機児童が解消されている状態	待機児童がいない状態	待機児童は発生しませんでした。
活動指標	市内放課後児童クラブの利用定員数	315 人	315 人
事業費（千円）		87,645	79,756

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、希望する児童が入所できるよう保育量を確保してまいります。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	子ども子育て課	事業	児童遊園管理費	予算科目	01一般会計・03 民生費・02児童福祉費・03児童福祉施設費
施策	1－1－1 保育・子育てサービスの充実	創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 安心して子育てできる仕組みづくり 保育等サービスの充実		

事業概要

市内3カ所（三千刈、金瓶、細谷）に設置された児童遊園の安全な維持管理を行います。

目的

児童遊園の適正な維持管理により、児童の健康増進や豊かな情操を養い、子育て環境の充実を図るため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標			
活動指標			
事業費（千円）		1,386	772

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

児童遊園における大きな修繕がなかったため、事業費の減となりました。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、安全な児童遊園を維持できるよう適正な維持管理を行ってまいります。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	子ども子育て課	事業	保育園整備事業費	予算科目	01一般会計・03 民生費・02児童福祉費・03児童福祉施設費
施策	1－1－1 保育・子育てサービスの充実			創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 安心して子育てできる仕組みづくり 保育等サービスの充実

事業概要

公立保育所の使用状況や新たな事業内容に応じて、施設を計画的に整備・修繕することにより、安全な維持管理を行うとともに、円滑な事業の実施につなげます。

目的

公立保育所を安全・安心・快適に使用できる環境整備に努め、子育てしやすい環境づくりを推進するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標 活動指標			
事業費（千円）		5,191	3,116

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

しらさぎ保育園のプール日除け屋根設置工事など、一部工事において、予定していた額よりも低額での契約等となったため、事業費の減となりました。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、安全・安心・快適な公立保育所となるよう適切な環境整備に努めてまいります。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	子ども子育て課	事業	児童館等整備事業費	予算科目	01一般会計・03 民生費・02児童福祉費・03児童福祉施設費
施策	1－1－1 保育・子育てサービスの充実			創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 安心して子育てできる仕組みづくり 保育等サービスの充実

事業概要

児童館等の使用状況に応じて、施設を計画的に整備・修繕することにより、安全な維持管理を行います。

目的

児童館等を安全・安心・快適に使用できる環境整備に努め、子育てしやすい環境づくりを推進するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標			
活動指標			
事業費（千円）		1,848	1,118

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

各施設の修繕において、予定していた額よりも低額での契約等となったため、事業費の減となりました。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、安全・安心・快適な児童館等となるよう適切な維持管理に努めてまいります。

所属

子ども子育て課

振興計画

第1章 笑顔 「みんなが笑顔で輝けるまちをつくります」
1-1 子育て

施策

1-1-2 子育て支援体制の充実

創生総合戦略

3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 安心して子育てできる仕組みづくり 子育て支援サービスの充実 3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 安心して子育てできる仕組みづくり 妊娠・出産から子育てまでの総合的な支援の推進 3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

方針

妊娠・出産・子育てに係る相談体制を強化して、すべての妊産婦、子育て世帯、子どもたちが、健やかに成長できる環境を整備します。
子どもたちが、健やかに成長できる環境を整備します。

目標

1 伴走型支援の推進

こども家庭センターが核となり、妊娠期から出産・子育て期まで切れ目なく、きめ細やかな相談に応じ、ニーズに沿ったサポートにつなぐ伴走型での支援を推進することで、すべての妊産婦、子育て世帯、子どもたちが健やかに成長できる環境を整備します。

2 困難を抱える家庭への支援強化

こども家庭センターにおける相談のなかで、妊産婦自身や子どもの養育等に困難を抱える家庭については、医療機関、保育園、認定こども園、学校、児童相談所等の関係機関と連携を強化し、対象となる家庭をサポートすることで、育児不安の軽減や児童虐待の防止、子どもの貧困対策等を推進します。

実績

1 伴走型支援の推進

(1) 伴走型支援は、妊娠届出時面談(74件/年)をはじめとし産前産後を含めた電話相談(延べ217件)や教室(9回/年)等を実施し、妊娠期から積極的な関わりを通し各家庭の状況を把握、支援を開始しました。子育て期は乳幼児健診(集団)時相談(33回/年)、発達や家族に関する相談会(42回/年)を行い、保護者が必要と感じた時に相談できる機会や家事育児支援クーポン事業、アプリでの情報提供、通院のためのタクシー支援事業等ポピュレーションアプローチからセーフティネットまでニーズに沿って子どもたちが健やかに成長できる環境を整えました。

2 困難を抱える家庭への支援強化

(1) 子育てに困難を抱える家庭に対し、子育てに関する助言や必要な福祉サービスの提案を行うなど、養育環境改善に向け電話や面接などの相談を延べ3,070件行いました。また、市報やホームページによる広報、乳幼児健診時におけるリーフレット配付などにより、児童虐待の未然防止に向けた啓蒙啓発を実施しました。このほか、市内フードバンク活動団体等と連携しフードドライブを2回開催するとともに、市内団体等への協力の働きかけや、市報、ホームページ等での啓蒙啓発を実施しました。

中間アウトカム指標	単位	令和 6 年度実績	令和 7 年度実績	令和 8 年度実績	令和 9 年度実績
かみのやま子育て応援アプリの登録者数	人	473	—	—	—
要保護児童対策地域協議会の進行管理ケースで支援が終了した件数の割合	%	39	—	—	—

指標の変化に対する分析

かみのやま子育て応援アプリの登録者数は毎年出生数程度伸びており、支援対象者は登録している状況です。
要保護児童対策地域協議会の進行管理ケースで支援が終了した件数の割合については、子育てに関する助言や必要な福祉サービスの導入の提案等を行ったものの、養育環境が改善に至らず、支援の終了に至らなかったケースや、新たに支援を開始したケースもあったことから、現状の終了率となっていると考えられます。

目標の実現に向けた今後の取組

全ての妊産婦、子育て世帯がその時々に必要な子育て情報を得て、必要なサービスを選び利用できるよう、支援事業の充実や社会資源の情報提供など、切れ目のない子育て支援を実施していきます。
児童虐待の未然防止等に向け、啓蒙啓発を強化するほか、関係機関と連携し継続した支援を実施していきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	健康推進課	事業	子育て支援医療給付費	予算科目	01一般会計・03 民生費・01社会福祉費・05医療給付費
施策	1－1－2 子育て支援体制の充実			創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 安心して子育てできる仕組みづくり 子育て支援サービスの充実

事業概要

高校生までの子どもに対する医療機関等での窓口負担を助成します。

（１）受給者数 県単独分1,350人、市単独分1,750人（小学生580人、中学生550人、高校生620人）

（２）給付対象 県単独分：未就学児、小学１～３年生の外来、小・中学生の入院（一部負担金有）

市単独分：県単独分対象外（一部負担金有も対象）の高校生までの医療費の窓口負担分

目的

０歳から18歳（高校３年生等）に対する医療給付において、医療機関等での窓口負担を無料とし、子育てを支援するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標			
活動指標			
事業費（千円）		143,547	131,746

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

今後も、適正な給付を実施し、経済的負担を軽減していきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	健康推進課	事業	ひとり親家庭等医療給付費	予算科目	01一般会計・03 民生費・01社会福祉費・05医療給付費
施策	1－1－2 子育て支援体制の充実	創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 安心して子育てできる仕組みづくり 子育て支援サービスの充実		

事業概要

ひとり親家庭等に対する医療機関等での窓口負担を軽減します。

- （１）受給者数 240人
- （２）受給対象
 - ア 母子家庭、父子家庭及びDV防止法により保護命令を受けた被害者で18歳以下の児童を扶養し、所得税非課税の者
 - イ 上記に挙げる者に扶養されている18歳以下の児童
 - ウ 父母のない18歳以下の児童

目的

ひとり親家庭等に対する医療給付において、医療機関等での窓口負担を軽減し、子育てを支援するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標			
活動指標			
事業費（千円）		11,605	11,365

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

今後も、適正な給付を実施し、経済的負担を軽減していきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	健康推進課	事業	未熟児養育医療給付費	予算科目	01一般会計・03 民生費・01社会福祉費・05医療給付費
施策	1－1－2 子育て支援体制の充実			創生総合戦略	該当なし

事業概要

国・県の制度に基づき、未熟児等に対する養育医療費の医療機関等での窓口負担を助成します。（所得により自己負担額は異なります）

目的

未熟児等に対する養育医療費の医療機関等での窓口負担を助成し、子育てを支援するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標			
活動指標			
事業費（千円）		1,792	1,790

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

今後も、適正な給付を実施し、経済的負担を軽減していきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	福祉課	事業	母子等福祉費	予算科目	01一般会計・03 民生費・02児童福祉費・01児童福祉総務費
施策	1－1－2 子育て支援体制の充実			創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 安心して子育てできる仕組みづくり 子育て支援サービスの充実

事業概要

母子・父子家庭の自立を支援するため、児童扶養手当の給付を行い、自立支援教育訓練給付金、高等職業訓練促進給付金を支給し教育訓練や職業訓練期間の生活の負担軽減を図ります。令和元年度から県事業を活用し、高等職業訓練促進給付金受給者に生活応援給付金や住まい応援給付金（民間賃貸住宅居住者）も併せて支給できるようになっています。

目的

母子・父子家庭の自立支援に向けた相談支援・給付事業の実施及び児童扶養手当を給付するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標			
活動指標			
事業費（千円）		89,078	70,423

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

ひとり親には必ず案内していますが、当初想定した人数より申請者が少なかったこと、また年齢到達で消滅した世帯も多かったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

子ども子育て課と連携し、ひとり親の給付について制度の周知及び申請案内を行います。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	福祉課	事業	児童手当給付費	予算科目	01一般会計・03 民生費・02児童福祉費・02児童措置費
施策	1－1－2 子育て支援体制の充実			創生総合戦略	該当なし

事業概要

児童手当制度に基づき対象者に支給します。

目的

児童を養育している人を対象に児童手当を支給し、次世代の社会を担う子ども一人一人の育ちを社会全体で応援するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標			
活動指標			
事業費（千円）		356,683	348,858

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

出生や転入時に市民生活課と連携し、児童手当制度の周知及び申請案内を行います。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 福祉課 事業 出産・子育て応援給付金事業費 予算科目 01一般会計・04 衛生費・01保健衛生費・01保健衛生総務費

施策 1－1－2 子育て支援体制の充実 創生総合戦略 該当なし

事業概要

妊娠届出や出産届出を行った妊産婦等に対し、出産育児関連用品購入等の経済的支援として、妊婦1人あたり50,000円、新生児1人あたり50,000円を給付します。また、新生児の父又は母に聴覚検査費用の一部として聴覚検査助成金5,000円を給付します。

目的

全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう、妊娠期から出産・子育てまで一貫した経済支援を行うため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標 活動指標			
事業費（千円）		18,771	12,174

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

妊娠届出数、出産届出数ともに、想定よりも下回ったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

子ども子育て課や市民生活課と連携し、妊産婦等に対する制度の周知及び申請案内を行います。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	子ども子育て課	事業	子ども家庭総合支援拠点事業費	予算科目	01一般会計・03 民生費・02児童福祉費・01児童福祉総務費
施策	1－1－2 子育て支援体制の充実			創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 安心して子育てできる仕組みづくり 妊娠・出産から子育てまでの総合的な支援の推進

事業概要

専門の相談員を配置し、ひとり親、DV、児童虐待、本来大人が担うようなケア責任を負っている児童・世帯等の相談支援を実施します。また、関係機関、民間支援団体等と連携し、適切な福祉サービスに繋がります。

目的

家庭は児童育成の基盤であり、児童の人間形成に強い影響を持ちます。近年の児童を取り巻く環境の変化により、児童相談やひとり親家庭の相談内容も複雑多様化していることから、専門的知識を有する相談員が支援対応を行うことで、家庭児童福祉の向上を図るため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	児童・保護者等が必要な支援が受けられる状態	相談員を配置し、児童・保護者等の相談を受けている状態	相談員を配置し、児童・保護者等の相談を実施しました。
活動指標	対象児童支援検討会議開催数	4 回	4 回
事業費（千円）		17,287	9,829

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

予算の乖離については、DV等で支援が必要な方が入所する母子生活自立支援施設の令和6年度の利用者がいなかったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

児童虐待など、啓蒙啓発を強化し、未然防止に取り組むとともに、関係機関と連携し当事者に寄り添った相談支援を実施します。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 子ども子育て課 事業 母子保健推進費 予算科目 01一般会計・04 衛生費・01保健衛生費・01保健衛生総務費

施策 1－1－2 子育て支援体制の充実 創生総合戦略 3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 安心して子育てできる仕組みづくり 妊娠・出産から子育てまでの総合的な支援の推進

事業概要

母子保健法に基づき母子の健康保持増進のため、保健指導、健康診査、医療、相談事業などを実施します。また、こども家庭センターの支援の充実を図り、妊娠から子育て期の様々な悩みや不安等に対し、子育て家族への切れ目のない母子保健体制を構築していきます。

目的

親と子がともに成長し、健やかで心豊かに育つよう支援を行い、母子の健康増進を図るため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	母及び乳幼児がその人らしく健康で安心して生活ができる状態	こども家庭センターの支援やサービスを市民が活用している状態	こども家庭センターの支援やサービスを市民が活用しました。
活動指標	乳幼児家庭全戸訪問事業の早期訪問率	96 %	97.9 %
事業費（千円）		40,639	27,006

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

事業費については妊婦が大きく減少したことで妊婦健診委託料が減少し、新規5歳児健診を単独健診として予定していましたが、乳幼児健診対象者の減少により従来の健診（1歳6か月児）と同日健診で実施したため医師等の報酬費が減少したと考えられます。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き関係機関と連携し母子の健康の保持増進に取り組むとともに、子育て世帯への切れ目のない支援を実施していきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	学校教育課	事業	私立高等学校就学奨励補助費	予算科目	01一般会計・10 教育費・01教育総務費・04就園就学奨励費
施策	1－1－2 子育て支援体制の充実			創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

事業概要

私立高等学校生徒の保護者に対し、補助金交付を行い経済的負担の軽減を図ります。

目的

就学奨励補助金を交付することにより、就学を支援するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	生徒の学習状況を把握し、必要な学習活動を提供できる状態	援助を希望する私立高校生徒保護者に審査のうえ補助金交付している状態	援助を希望する私立高校生徒保護者に審査のうえ補助金を交付しました。
活動指標	就学奨励補助実施率	70 %	50 %
事業費（千円）		600	330

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

十分な対応ができるように予算を確保しましたが、補助対象となった保護者が少なかったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き対象者になりうる保護者等へ制度内容が周知できるよう努めていきます。

所属

学校教育課

振興計画

第1章 笑顔 「みんなが笑顔で輝けるまちをつくれます」
1-2 学校教育

施策

1-2-1 豊かな感性と健やかな体の育成

創生総合戦略 3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

方針

いのちの教育の推進や体験活動の充実を図り、豊かな人間性や社会性、健やかな体を育成します。

目標

1 いのちの教育の推進

日常の生徒指導を基盤とする発達支持的な生徒指導や、チーム学校による指導体制の充実により、いじめや不登校等の生徒指導上の課題の未然防止、早期発見による迅速な対応に努めます。

また、安全・安心な学校・学級風土の醸成により、教育活動を通して児童生徒の自尊感情を高め、自己のよさに気づけるようにします。

2 豊かな心と健やかな体の育成

読書に親しんだり運動の経験を増やしたりする取組を推進し、学びに向かう力や社会性、コミュニケーション能力等の非認知能力を育成します。発達段階に応じて健康で安全な生活を送ることができるよう、体力・運動能力の向上や食習慣をはじめとする基本的な生活習慣を改善します。

3 体験活動の充実

上山の自然や文化を活かした体験活動を充実することにより、豊かな感性を育みます。上山で働く大人と関わるキャリアスタートウィークの取組を通して、主体的に自己の進路を見つめ、将来の夢や希望を思い描けるようにします。

実績

1 いのちの教育の推進

(1) 児童生徒の学級満足度についてアンケート（ＱＵアンケート）を実施し、それに関する教職員研修会及びＳＯＳの出し方・受け止め方研修の実施により学校全体で生徒指導上の課題の未然防止、早期発見に努めました。

2 豊かな心と健やかな体の育成

(1) コミュニティスクールの仕組みを生かして、地域の特産であるほしがき作りや米づくり体験など地域と連携した体験的な学びを推進しました。

3 体験活動の充実

(1) 中学校でのキャリアスタートウィークや小学校でのスキー教室など地域の力や特色を活かした活動を実施しました。

中間アウトカム指標	単位	令和6年度実績	令和7年度実績	令和8年度実績	令和9年度実績
ＱＵアンケートにおいて児童・生徒が「学級での生活に満足している」と回答した割合	%	54	—	—	—
体力テストにおいてＢ判定以上である児童・生徒の割合	%	31	—	—	—

指標の変化に対する分析

ＱＵアンケートについては、児童生徒のニーズが多様化している中、教員数が減少して抱えている業務が多くなり、子供と向き合う時間が十分に取れていなかったため、学級での生活に満足している割合が低かったためと思われます。また、体力テストについては、コロナ禍をきっかけとして学校行事や大会等も減っていることから、子供たちが活躍する機会が減っていることが要因と考えられます。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続きWEBＱＵやＳＯＳの出し方、受け止め方研修を行い、適切に子供の状況を把握すること、また、改善するための手立てについて教員が学ぶ場を設定します。また、今行っている教育活動の中で子供たちの良さを認められるような場面を見いだしていけるような取り組みとしていきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	学校教育課	事業	小学校保健対策費	予算科目	01一般会計・10 教育費・02小学校費・01学校管理費
施策	1－2－1 豊かな感性と健やかな体の育成	創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進		

事業概要

児童、教職員の健康診断の実施及び保健室関連備品等の整備を行います。

目的

児童及び教職員の健康状態を管理し、学校教育を維持するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	全ての児童、教職員の健康状態を把握、管理するとともに必要があれば受診を勧める等、適切な助言を行う状態	全ての児童、教職員の健康状態を把握、管理するとともに必要があれば受診を勧める等、適切な助言を行う状態	児童、教職員の健康状態を把握、管理し、必要があれば受診を勧める等、適切な助言を行いました。
活動指標	児童の健康診断実施率	100 %	99.8 %
	教職員の健康診断実施率	100 %	100 %
事業費（千円）		9,338	7,688

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

検診日に病欠等の児童がいたため、全検診で100%となりませんでした。

目標の実現に向けた今後の取組

学校と連携を取りながら、法令等に基づき計画的に実施していきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	学校教育課	事業	中学校保健対策費	予算科目	01一般会計・10 教育費・03中学校費・01学校管理費
施策	1－2－1 豊かな感性と健やかな体の育成	創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進		

事業概要

生徒、教職員の健康検査の実施及び保健室関連備品等の整備を行います。

目的

生徒及び教職員の健康状態を管理し、学校教育を維持するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	全ての生徒、教職員の健康状態を把握、管理するとともに必要があれば受診を勧める等、適切な助言を行う状態	全ての生徒、教職員の健康状態を把握、管理するとともに必要があれば受診を勧める等、適切な助言を行う状態	生徒、教職員の健康状態を把握、管理し、必要があれば受診を勧める等、適切な助言を行いました。
活動指標	生徒の健康診断実施率	100 %	97.9 %
	教職員の健康診断実施率	100 %	100 %
事業費（千円）		5,845	4,787

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

検診日に病欠や不登校の生徒がいたため、全検診で100%となりませんでした。

目標の実現に向けた今後の取組

学校と連携を取りながら、法令等に基づき計画的に実施していきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	学校教育課	事業	魅力ある学校づくり推進事業費	予算科目	01一般会計・10 教育費・01教育総務費・02教育指導費
施策	1-2-1 豊かな感性と健やかな体の育成 1-2-2 魅力ある学校づくりの推進 1-2-3 特色ある学校づくりの推進			創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

事業概要

中学2年生が3日間の職場体験学習を通じて職業観、勤労観を育みます。
標準学力検査・知能検査・Q-U検査、GTEC等を行い、検査結果から学力向上や学級集団づくりに向けた対応を図るとともに、各校毎に地域の自然、文化や伝統産業を活かした特色ある教育活動を推進していきます。

目的

地域に密接した活動と個人の学力等を客観視することにより、主体的に学習に取り組む態度を育むため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	児童生徒の学習状況を把握し、必要に応じた学習活動を提供できる状態	保護者が短歌学習などの「上山市ならではの特色ある教育活動が展開している」と感じている割合が、前年度を上回る。	保護者が短歌学習などの「上山市ならではの特色ある教育活動が展開している」と感じている割合が、前年度とほぼ同じでした。
活動指標	特色ある学校づくり推進事業費の補助実施校数	7 校	7 校
	キャリアスタートウィークの実施校数	3 校	3 校
	標準学力検査、知能検査、Q-U検査等の実施校数	7 校	7 校
事業費（千円）		16,342	14,516

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標については、児童生徒・保護者のニーズが多様化するも、教職員数が減少し特色ある教育活動の展開を十分に行えなかったためです。事業費については、英検補助対象を本会場受験のみとしたので申請件数が少なかったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

職場体験学習を通じて職業観、勤労観を育みます。また、学力検査等の結果を学力向上や学級集団づくりに生かすことで、教職員のゆとりを創出し、各校毎の地域の自然や文化を活かした特色ある教育活動を推進していきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	学校教育課	事業	学校教育振興費	予算科目	01一般会計・10 教育費・02小学校費・02教育振興費
施策	1－2－1 豊かな感性と健やかな体の育成 1－2－2 魅力ある学校づくりの推進			創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

事業概要

教育事務委託、日本スポーツ振興センター負担金を措置し、学校教育環境整備を図るとともに、学習指導要領に対応した教材備品等の整備を行います。

目的

山元地区及びみはらしの丘地域児童の就学並びに児童の怪我等への安全を保障し、安心できる教育環境を整えるとともに、市内小学校の教材、教具を購入・維持管理し授業改善を図るため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	全児童の怪我に対する医療給付が適切に行われている状態 教材備品が管理され、教育課程が予定通り行われている状態	児童の怪我に対する医療給付が適切に行われている状態 教材備品が管理され教育課程が予定通り行われている状態	児童の怪我に対する医療給付を適切に行いました。 教材備品を管理し教育課程を予定通り行いました。
活動指標	教育事務委託人数	46 人	40 人
	日本スポーツ振興センター加入率	100 %	100 %
事業費（千円）		25,520	16,959

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

事業費については、児童数の変動に対応できるよう予算を確保しましたが、実際に対象となった児童が少なかったためです。また、教育事務委託について、これまで多く支払っていた受益者負担と給食費等の精算を行い、総支払額が少なかったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、児童が安心できる教育環境を計画的に整えていきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	学校教育課	事業	学校教育振興費	予算科目	01一般会計・10 教育費・03中学校費・02教育振興費
施策	1－2－1 豊かな感性と健やかな体の育成 1－2－2 魅力ある学校づくりの推進			創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

事業概要

教育事務委託、日本スポーツ振興センター負担金を措置し、学校教育環境整備を図るとともに、学習指導要領に対応した教材備品等の整備を行います。

目的

山元地区及びみはらしの丘地域生徒の就学並びに生徒の怪我等への安全を保障し、安心できる教育環境を整えるとともに、市内中学校の教材、教具を購入・維持管理し授業改善を図るため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	全生徒の怪我に対する医療給付が適切に行われている状態 教材備品が管理され、教育課程が予定通り行われている状態	生徒の怪我に対する医療給付が適切に行われている状態 教材備品が管理され教育課程が予定通り行われている状態	生徒の怪我に対する医療給付を適切に行いました。 教材備品を管理し、教育課程を予定通り行いました。
活動指標	教育事務委託人数	7 人	6 人
	日本スポーツ振興センター加入率	100 %	100 %
事業費（千円）		6,720	1,204

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

事業費について、生徒数の変動に対応できるよう予算を確保しましたが、実際に対象となった生徒が少なかったためです。また、教育事務委託について、これまで多く支払っていた受益者負担と給食費等の精算を行い総支払額が少なかったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、生徒が安心できる教育環境を計画的に整えていきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	学校教育課	事業	教育指導費	予算科目	01一般会計・10 教育費・01教育総務費・02教育指導費
施策	1-2-1 豊かな感性と健やかな体の育成 1-2-2 魅力ある学校づくりの推進 1-2-3 特色ある学校づくりの推進			創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

事業概要

各小中学校の学校経営や教育活動への指導、支援を行います。また、教科書採択及びＩＣＴ化に伴う教師用教科書、指導書の整備を行うとともに、学校教育指導に要する費用及び児童生徒の派遣費の補助を行います。

目的

全ての児童生徒への適正な教育と学校・学級経営の深化及び個々の担任力を高めるため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	児童生徒が学級での生活に満足していると自覚している状態	児童生徒が学級での生活に満足していると自覚している状態	児童生徒が学級での生活に満足していると半数以上が自覚していました。
活動指標	デジタル教科書の導入数	33 セット	33 セット
	児童生徒派遣費の補助実施率	100 %	100 %
事業費（千円）		18,626	16,318

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

児童・生徒のニーズが多様化している中、教員の数が増え、抱えている業務が多くなっています。子どもと向き合う時間が十分とれなかったため、学級での生活に満足している割合が半数以上にとどまったものと思われます。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続きデジタル教科書等を導入し、教員に教材研究の時間が確保できるようゆとりを創出していきます。体育大会等派遣費補助を継続し、学校生活に満足できる生徒を増やします。特に若手教員に対する研修等の機会を与え、学級経営能力を育成していきます。

所属

学校教育課

振興計画

第1章 笑顔 「みんなが笑顔で輝けるまちをつくります」
1-2 学校教育

施策

1-2-2 魅力ある学校づくりの推進

創生総合戦略 3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

方針

地域との連携を図り、社会や子どもの教育的ニーズに対応した魅力ある学校づくりを推進します。

目標

1 「一人ひとりの可能性をひらく」確かな学力の育成

学力の3要素である「知識および技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」をバランスよく育むため、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に努めます。また、小中連携を推進し、9年間を見据えた学びの連続性・系統性を重視するとともに、児童生徒の主体的な学びを促します。

2 安全・安心で信頼される学校づくり

Q-Uアンケートの実施により、学級集団や個々の児童生徒の状況を客観的に把握し、いじめや不登校の未然防止や居心地のよい学級経営の充実を図ります。また、児童生徒の安全・安心を確保するため、学校運営協議会を効果的に活用しながら、学校・家庭・地域・その他関係機関との連携を推進します。

3 多様な教育的ニーズに対応した教育の推進

すべての児童生徒がそれぞれの能力や特性に応じた教育を受けられるようにインクルーシブ教育システムを推進します。

また、児童生徒が心豊かに学び続けられるよう、校内におけるきめ細かな指導・支援体制の充実に努めます。さらに、関係機関等との連携を図り、適正な就学や教育支援、不登校児童生徒の学びの場や機会を保障します。

実績

1 「一人ひとりの可能性をひらく」確かな学力の育成

(1) 市内全小中学校に「授業づくりアドバイザー」として大学教授を年1～3回招聘し、授業改善のために指導・助言を受けました。

2 安全・安心で信頼される学校づくり

(1) WEBQ-Uの結果を踏まえ、市内全小中学校で講師を招聘しての研修を行い、結果の見方や手立てについて学ぶ機会を設けました。また、学校運営協議会で各校の課題や要望を委員で共有し、連携を強化しました。

3 多様な教育的ニーズに対応した教育の推進

(1) 教育支援委員会を3回開催し、就学児・在籍変更の児童生徒の適切な学びの検討を行い、ニーズに応じた教育環境の提供に努めました。また、学校に行きづらさを感じる児童生徒に対しては、上山市教育支援センターを相談窓口として、児童生徒の思いに寄り添いながら学ぶ機会の提供を行いました。

中間アウトカム指標	単位	令和 6 年度実績	令和 7 年度実績	令和 8 年度実績	令和 9 年度実績
N R T 検査において50以上である児童・生徒の割合	%	51	—	—	—
児童・生徒が全国学力・学習状況調査において「学校に行くのは楽しい」と回答した割合	%	80	—	—	—

指標の変化に対する分析

N R T 並びに全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた分析のための職員研修により、個々の児童生徒の理解に基づいた学級経営が展開され、児童生徒や学級集団を支える体制づくりが学校内外で推進されました。

目標の実現に向けた今後の取組

授業づくりを軸に研修内容を充実させ、生徒指導も含めた個々の教師の授業力を向上させることで、「確かな学力」の育成を図ります。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属

学校教育課

事業

地域ぐるみの学校安全体制整備事業費

予算科目

01一般会計・10 教育費・01教育総務費・02教育指導費

施策

1－2－2 魅力ある学校づくりの推進

創生総合戦略

3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

事業概要

地域学校安全指導員であるスクール・ガード・リーダーを配置し、巡回指導や通学路の安全点検及び危険個所の確認を行います。

目的

通学路や地域の安全を保障することにより、安全・安心がある学校教育を推進するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	スクール・ガード・リーダーの配置により、登下校時の安全確保に努め地域ぐるみで児童生徒の安全への機運が高められた状態	スクール・ガード・リーダーの巡回指導の回数を増やすことで児童生徒の安全確保が一層図られている状態	スクール・ガード・リーダーの巡回指導の回数を増やすことで巡回指導を手厚く行うとともに、児童生徒の安全に対する意識づけの呼びかけができた。
活動指標	スクール・ガード・リーダー配置人数	1 人	1 人
	スクール・ガード・リーダー活動回数	75 回	79 回
事業費（千円）		324	324

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

特に危険個所を重点的に巡回してもらうことで児童生徒の安全確保に努めます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	学校教育課	事業	教育研究所等運営費	予算科目	01一般会計・10 教育費・01教育総務費・03教育研究費
施策	1－2－2 魅力ある学校づくりの推進	創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進		

事業概要

教育に関する研究調査・研修の実施、所報「教育上山」の発行、社会科副読本「わたしたちの上山市」発行、市学校教育研究会事業への補助を行います。
各校のホームページの運営管理により、情報の発信を広く行います。

目的

教育の情報収集、交換をすることにより、現在の担任力を深化させるとともに、学び合いの授業研究を推進し子どもの作品を活用することにより、担任力を向上させるため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	市教委及び市内各団体の必要とする調査、研究及び教職員の研修を高め、教育の振興を図っている状態	教職員の研修会の内容及び担任力等に関して研究がより深められ、小中学校に情報を発信される状態 社会科副読本を利用してより実態に根ざした授業が展開される状態	教職員の研修会の内容及び担任力等に関して研究がより深められるよう小中学校に情報を発信しました。社会科副読本を利用してより実態に根ざした授業を展開しました。
活動指標	所報「教育上山」発行回数	1 回	1 回
事業費（千円）		698	605

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

小中連携による学び合いの授業研究や郷土愛を育む副読本の発行を通して、子どもたちの確かな学力の定着を図ります。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	学校教育課	事業	教育相談所運営費	予算科目	01一般会計・10 教育費・01教育総務費・03教育研究費
施策	1－2－2 魅力ある学校づくりの推進			創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

事業概要

教育相談員を配置し、教育相談活動、生活支援、適正な就学にむけた教育支援を行います。

目的

不登校や特別な支援を要する子どもに個別の指導や適正な就学指導を行い、安心できる教育環境を整えるため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	特別な支援を要する児童生徒の実態把握及び個々のニーズに応じた支援を行い不登校にならない状態	特別な支援を要する児童生徒で不登校傾向の児童生徒が前年度より減少した状態	不登校傾向の児童生徒向けの適応指導教室（すこやか教室）を開催するなどし、不登校傾向の児童生徒が前年度より減少しました。
活動指標	教育相談員配置人数	1 人	1 人
	専門員の配置人数	9 人	9 人
	適応指導教室設置数	1 箇所	1 箇所
事業費（千円）		5,706	5,509

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

学校及び関係機関と連携を図りながら、子どもたちが安心できる教育環境を整えていきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	学校教育課	事業	就学時健康診断費	予算科目	01一般会計・10 教育費・01教育総務費・04就園就学奨励費
施策	1－2－2 魅力ある学校づくりの推進			創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

事業概要

次年度小学校入学予定者に対し、適正な就学にむけた就学時健康診断を実施します。

目的

就学時健康診断で健康状態を把握し、適正な就学を支援するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	小学校1年生の児童が不登校を発生せず、さらに、一人ひとりの健康状態を把握し保護者に助言できる状態	小学校1年生の児童が不登校を発生せず、さらに、一人ひとりの健康状態を把握し保護者に助言できる状態	小学校1年生の不登校は2名でした。一人ひとりの健康状態を把握し保護者に適切な助言を行いました。
活動指標	就学時健康診断の実施率	100 %	100 %
事業費（千円）		396	337

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

家庭内の関わり方や本人の学校での不安の大きさにより2名が不登校となりましたが、3月には欠席0日となり継続して登校できるようになりました。

目標の実現に向けた今後の取組

就学児童や保護者が安心して入学できるよう、法令等に基づき就学先の学校や関係機関と連携を取りながら計画的に進めていきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	学校教育課	事業	小学校就学奨励費	予算科目	01一般会計・10 教育費・02小学校費・02教育振興費
施策	1－2－2 魅力ある学校づくりの推進			創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

事業概要

各種の就学援助を行い、保護者の経済的負担軽減を図ります。

目的

遠隔地通学の安全及び家庭の経済的な課題を解決し、魅力ある学校づくりを推進するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	遠距離通学を補助し無事故で通学している状態 保護者の経済的負担軽減が図られている状態	補助を行うことで、無事故で通学している状態 就学援助により経済的困難な保護者の負担軽減が図れる状態	補助を行うことで、無事故で通学できました。 就学援助により経済的困難な保護者の負担軽減を図りました。
活動指標	準要保護認定人数	65 人	68 人
	遠距離通学費の補助実施率	100 %	78 %
事業費（千円）		11,218	9,356

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

十分な対応ができるように予算を確保しましたが、遠距離通学費について補助対象となった保護者が少なかったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、学校と連携しながら遠距離通学費補助金等制度の周知を図っていきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属

学校教育課

事業

スクールバス運行事業費

予算科目

01一般会計・10 教育費・02小学校費・02教育振興費

施策

1－2－2 魅力ある学校づくりの推進

創生総合戦略

3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

事業概要

スクールバスの運行（通学時及び校外行事等）を行います。

目的

スクールバスの運行により、安全を確保するとともに魅力ある学校づくりを推進するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標 活動指標			
事業費（千円）		34,105	27,830

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

児童生徒の健全育成につなげるため、計画的で安全なスクールバスの運行を行います。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	学校教育課	事業	中学校就学奨励費	予算科目	01一般会計・10 教育費・03中学校費・02教育振興費
施策	1－2－2 魅力ある学校づくりの推進			創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

事業概要

各種の就学援助を行い、保護者の経済的負担軽減を図ります。

目的

遠隔地通学の安全及び家庭の経済的な課題を解決し、魅力ある学校づくりを推進するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	遠距離通学を補助し無事故で通学している状態 保護者の経済的負担軽減が図られている状態	補助を行うことで、無事故で通学している状態 就学援助により経済的困難な保護者の負担軽減が図られている状態	補助を行うことで、無事故で通学できました。 就学援助により経済的困難な保護者の負担軽減を図りました。
活動指標	準要保護認定人数	46 人	43 人
	遠距離通学費の補助実施率	100 %	81 %
事業費（千円）		9,982	7,415

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

十分な対応ができるように予算を確保しましたが、補助対象となった保護者が少なかったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き対象者になりうる保護者等へ制度内容が周知できるように努めていきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	学校教育課	事業	教職員研修費	予算科目	01一般会計・10 教育費・01教育総務費・02教育指導費
施策	1-2-2 魅力ある学校づくりの推進 1-3-1 英語を通じたコミュニケーション能力の育成			創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

事業概要

上山市教育振興基本計画に基づき、大学や学術機関と連携した各種研修・講座を開催します。また、Q-U検査と学力検査のデータ分析から学級集団づくりを基盤とした担任力及び学力向上のための研修会を開催します。

目的

学級集団や学力の状況を客観的データで分析することや、講師の招へい、各種研修会の開催により担任力及び確かな学力の向上を図るため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	児童生徒が安心して楽しく意欲的に学校生活を送ることができる状態	児童生徒が学校生活や学習に満足し「学校に行くのは楽しい」と思っている状態 経験5年未満の教員に本市の課題に応じた研修を提供できる状態	児童生徒が「学校に行くのは楽しい」と思っている状態は、今年度は80%で前年度とほぼ同じでした。 経験5年未満の教員に本市の課題に応じた研修を提供しました。
活動指標	英語教育アドバイザーによる研修会	7 回	7 回
	Q-U検査活用・学級づくり研修会の実施回数	7 回	7 回
	中堅教員のアドバイザーへの起用人数	3 人	3 人
事業費（千円）		1,658	1,082

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

十分な対応ができるように予算を確保しましたが、児童生徒数の減少と対応する教職員の減少により予算の範囲内で対応できたためです。

目標の実現に向けた今後の取組

学校生活をさらに安心して楽しく送ることができるように、Q-U検査活用の充実とOJT機能の強化が図れるような研修を企画・運営していきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	学校教育課	事業	教育支援充実事業費	予算科目	01一般会計・10 教育費・01教育総務費・02教育指導費
施策	1－2－2 魅力ある学校づくりの推進 1－4－1 学校施設等の適正な維持管理と運営			創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

事業概要

様々な障がいや不安を抱えた児童生徒に対し、個々のニーズに応じた支援等を行う人員及び中学校における部活動指導員の配置を行います。また、授業や校務におけるＩＣＴ活用を推進するため支援員の派遣を行います。

目的

通常学級及び特別支援学級に在籍する子どもにきめ細かい指導を行うとともに、家庭の問題や言語上の課題を抱え、学習困難な子どもに対して学校の窓口となり子どもも保護者も安心できる学校づくりを推進するため。
教員の働き方改革の実現を図り、学校教育活動の充実を図るため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	様々な障がいや不安を抱える児童生徒が、支援を受けることで学校へ行くことが楽しいと思う状態	小中学校全校に学校教育支援員を配置している状態	小中学校全校に学校教育支援員を配置しました。
活動指標	学校生活指導員配置人数	2 人	3 人
	学校教育支援員配置人数	12 人	12 人
	別室登校学習指導員、自立支援員配置人数	3 人	3 人
事業費（千円）		55,971	49,773

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

教職員のＩＣＴ活用が推進され、事業費についてＩＣＴ活用支援業務委託による支援員の派遣を抑えることができたためです。

目標の実現に向けた今後の取組

支援を必要とする児童生徒の実態を把握し、適正な配置を行い、教員の働き方改革と学校教育活動の充実を図っていきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	学校教育課	事業	魅力ある学校づくり推進事業費	予算科目	01一般会計・10 教育費・01教育総務費・02教育指導費
施策	1-2-1 豊かな感性と健やかな体の育成 1-2-2 魅力ある学校づくりの推進 1-2-3 特色ある学校づくりの推進			創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

事業概要

中学2年生が3日間の職場体験学習を通じて職業観、勤労観を育みます。
標準学力検査・知能検査・Q-U検査、GTEC等を行い、検査結果から学力向上や学級集団づくりに向けた対応を図るとともに、各校毎に地域の自然、文化や伝統産業を活かした特色ある教育活動を推進していきます。

目的

地域に密接した活動と個人の学力等を客観視することにより、主体的に学習に取り組む態度を育むため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	児童生徒の学習状況を把握し、必要に応じた学習活動を提供できる状態	保護者が短歌学習などの「上山市ならではの特色ある教育活動が展開している」と感じている割合が、前年度を上回る。	保護者が短歌学習などの「上山市ならではの特色ある教育活動が展開している」と感じている割合が、前年度とほぼ同じでした。
活動指標	特色ある学校づくり推進事業費の補助実施校数	7 校	7 校
	キャリアスタートウィークの実施校数	3 校	3 校
	標準学力検査、知能検査、Q-U検査等の実施校数	7 校	7 校
事業費（千円）		16,342	14,516

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標については、児童生徒・保護者のニーズが多様化するも、教職員数が減少し特色ある教育活動の展開を十分に行えなかったためです。事業費については、英検補助対象を本会場受験のみとしたので申請件数が少なかったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

職場体験学習を通じて職業観、勤労観を育みます。また、学力検査等の結果を学力向上や学級集団づくりに生かすことで、教職員のゆとりを創出し、各校毎の地域の自然や文化を活かした特色ある教育活動を推進していきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	学校教育課	事業	学校教育振興費	予算科目	01一般会計・10 教育費・02小学校費・02教育振興費
施策	1－2－1 豊かな感性と健やかな体の育成 1－2－2 魅力ある学校づくりの推進			創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

事業概要

教育事務委託、日本スポーツ振興センター負担金を措置し、学校教育環境整備を図るとともに、学習指導要領に対応した教材備品等の整備を行います。

目的

山元地区及びみはらしの丘地域児童の就学並びに児童の怪我等への安全を保障し、安心できる教育環境を整えるとともに、市内小学校の教材、教具を購入・維持管理し授業改善を図るため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	全児童の怪我に対する医療給付が適切に行われている状態 教材備品が管理され、教育課程が予定通り行われている状態	児童の怪我に対する医療給付が適切に行われている状態 教材備品が管理され教育課程が予定通り行われている状態	児童の怪我に対する医療給付を適切に行いました。 教材備品を管理し教育課程を予定通り行いました。
活動指標	教育事務委託人数	46 人	40 人
	日本スポーツ振興センター加入率	100 %	100 %
事業費（千円）		25,520	16,959

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

事業費については、児童数の変動に対応できるよう予算を確保しましたが、実際に対象となった児童が少なかったためです。また、教育事務委託について、これまで多く支払っていた受益者負担と給食費等の精算を行い、総支払額が少なかったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、児童が安心できる教育環境を計画的に整えていきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属

学校教育課

事業

学校教育振興費

予算科目

01一般会計・10 教育費・03中学校費・02教育振興費

施策

1-2-1 豊かな感性と健やかな体の育成 1-2-2 魅力ある学校づくりの推進

創生総合戦略

3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

事業概要

教育事務委託、日本スポーツ振興センター負担金を措置し、学校教育環境整備を図るとともに、学習指導要領に対応した教材備品等の整備を行います。

目的

山元地区及びみはらしの丘地域生徒の就学並びに生徒の怪我等への安全を保障し、安心できる教育環境を整えるとともに、市内中学校の教材、教具を購入・維持管理し授業改善を図るため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	全生徒の怪我に対する医療給付が適切に行われている状態	生徒の怪我に対する医療給付が適切に行われている状態	生徒の怪我に対する医療給付を適切に行いました。
	教材備品が管理され、教育課程が予定通り行われている状態	教材備品が管理され教育課程が予定通り行われている状態	教材備品を管理し、教育課程を予定通り行いました。
活動指標	教育事務委託人数	7 人	6 人
	日本スポーツ振興センター加入率	100 %	100 %
事業費（千円）		6,720	1,204

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

事業費について、生徒数の変動に対応できるよう予算を確保しましたが、実際に対象となった生徒が少なかったためです。また、教育事務委託について、これまで多く支払っていた受益者負担と給食費等の精算を行い総支払額が少なかったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、生徒が安心できる教育環境を計画的に整えていきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	学校教育課	事業	教育指導費	予算科目	01一般会計・10 教育費・01教育総務費・02教育指導費
施策	1-2-1 豊かな感性と健やかな体の育成 1-2-2 魅力ある学校づくりの推進 1-2-3 特色ある学校づくりの推進			創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

事業概要

各小中学校の学校経営や教育活動への指導、支援を行います。また、教科書採択及びＩＣＴ化に伴う教師用教科書、指導書の整備を行うとともに、学校教育指導に要する費用及び児童生徒の派遣費の補助を行います。

目的

全ての児童生徒への適正な教育と学校・学級経営の深化及び個々の担任力を高めるため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	児童生徒が学級での生活に満足していると自覚している状態	児童生徒が学級での生活に満足していると自覚している状態	児童生徒が学級での生活に満足していると半数以上が自覚していました。
活動指標	デジタル教科書の導入数	33 セット	33 セット
	児童生徒派遣費の補助実施率	100 %	100 %
事業費（千円）		18,626	16,318

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

児童・生徒のニーズが多様化している中、教員の数が増え、抱えている業務が多くなっています。子どもと向き合う時間が十分とれなかったため、学級での生活に満足している割合が半数以上にとどまったものと思われます。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続きデジタル教科書等を導入し、教員に教材研究の時間が確保できるようゆとりを創出していきます。体育大会等派遣費補助を継続し、学校生活に満足できる生徒を増やします。特に若手教員に対する研修等の機会を与え、学級経営能力を育成していきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	学校教育課	事業	魅力ある学校づくり推進事業費	予算科目	01一般会計・10 教育費・01教育総務費・02教育指導費
施策	1-2-1 豊かな感性と健やかな体の育成 1-2-2 魅力ある学校づくりの推進 1-2-3 特色ある学校づくりの推進			創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

事業概要

中学2年生が3日間の職場体験学習を通じて職業観、勤労観を育みます。
標準学力検査・知能検査・Q-U検査、GTEC等を行い、検査結果から学力向上や学級集団づくりに向けた対応を図るとともに、各校毎に地域の自然、文化や伝統産業を活かした特色ある教育活動を推進していきます。

目的

地域に密接した活動と個人の学力等を客観視することにより、主体的に学習に取り組む態度を育むため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	児童生徒の学習状況を把握し、必要に応じた学習活動を提供できる状態	保護者が短歌学習などの「上山市ならではの特色ある教育活動が展開している」と感じている割合が、前年度を上回る。	保護者が短歌学習などの「上山市ならではの特色ある教育活動が展開している」と感じている割合が、前年度とほぼ同じでした。
活動指標	特色ある学校づくり推進事業費の補助実施校数	7 校	7 校
	キャリアスタートウィークの実施校数	3 校	3 校
	標準学力検査、知能検査、Q-U検査等の実施校数	7 校	7 校
事業費（千円）		16,342	14,516

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標については、児童生徒・保護者のニーズが多様化するも、教職員数が減少し特色ある教育活動の展開を十分に行えなかったためです。事業費については、英検補助対象を本会場受験のみとしたので申請件数が少なかったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

職場体験学習を通じて職業観、勤労観を育みます。また、学力検査等の結果を学力向上や学級集団づくりに生かすことで、教職員のゆとりを創出し、各校毎の地域の自然や文化を活かした特色ある教育活動を推進していきます。

所属

学校教育課

振興計画

第1章 笑顔 「みんなが笑顔で輝けるまちをつくれます」
1-2 学校教育

施策

1-2-3 特色ある学校づくりの推進

創生総合戦略 3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

方針

ふるさとに誇りをもち、豊かな自然・歴史・文化など、地域の特色を活かした学校づくりを推進します。

目標

1 豊かな自然・歴史・文化など、地域の特色を活かした活動の充実

「地域とともにある学校づくり」や「学校を核にした地域づくり」を一体的に進めるため、各学校の地域の実情に応じた特色ある教育活動を展開するための支援を充実します。

また、斎藤茂吉のふるさととして、短歌教室やかみのやま教育の日の記念式典における短歌大会等を開催し、児童生徒の郷土愛の醸成を図ります。

2 児童生徒主体の特色ある学校づくりの推進

平成26年度に子どもたち自身の手によって制定した「かみのやま子ども宣言」の意識化・具現化を図るため、各学校の代表児童生徒を構成メンバーとする「かみのやま子ども会議」を定期的に開催します。

また、上山市の一員としてできることを、各学校の児童会や生徒会の取組と連動させ、児童生徒が主体となって実践できるように支援します。

実績

1 豊かな自然・歴史・文化など、地域の特色を活かした活動の充実

(1) 総合的な学習の時間等を活用し、地域人材や資源を活かした各校独自の活動を推進するとともに、その様子や成果を学校だより等で保護者や地域に発信しました。また、小学5年生と中学3年生を対象に講師を招聘しての短歌教室を開催し、教育の日記念式典で短歌を発表する場を設け、学びの成果を披露しました。

2 児童生徒主体の特色ある学校づくりの推進

(1) 夏休みに「かみのやま子ども会議」を開催し、小中学生が交流を深めるとともに、各地区の課題を分析し、地域を支えるための具体的な取組について共に考える機会を設けました。

中間アウトカム指標	単位	令和6年度実績	令和7年度実績	令和8年度実績	令和9年度実績
学校評価において保護者が「特色ある教育活動が展開されている」と回答した割合	%	85	—	—	—

指標の変化に対する分析

各学校が地域に根差した教育活動を展開し、短歌教育や子ども会議の充実を図ったことで、児童生徒の学びを家庭や地域に還元することができました。

目標の実現に向けた今後の取組

各校の地域に根差した教育活動の支援を継続するとともに、児童生徒が上山市の一員として取り組もうとしていることを、教育の日のステージ発表において発信する機会を設けます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	学校教育課	事業	教育指導費	予算科目	01一般会計・10 教育費・01教育総務費・02教育指導費
施策	1-2-1 豊かな感性と健やかな体の育成 1-2-2 魅力ある学校づくりの推進 1-2-3 特色ある学校づくりの推進			創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

事業概要

各小中学校の学校経営や教育活動への指導、支援を行います。また、教科書採択及びＩＣＴ化に伴う教師用教科書、指導書の整備を行うとともに、学校教育指導に要する費用及び児童生徒の派遣費の補助を行います。

目的

全ての児童生徒への適正な教育と学校・学級経営の深化及び個々の担任力を高めるため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	児童生徒が学級での生活に満足していると自覚している状態	児童生徒が学級での生活に満足していると自覚している状態	児童生徒が学級での生活に満足していると半数以上が自覚していました。
活動指標	デジタル教科書の導入数	33 セット	33 セット
	児童生徒派遣費の補助実施率	100 %	100 %
事業費（千円）		18,626	16,318

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

児童・生徒のニーズが多様化している中、教員の数が減少し、抱えている業務が多くなっています。子どもと向き合う時間が十分とれなかったため、学級での生活に満足している割合が半数以上にとどまったものと思われます。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続きデジタル教科書等を導入し、教員に教材研究の時間が確保できるようゆとりを創出していきます。体育大会等派遣費補助を継続し、学校生活に満足できる生徒を増やします。特に若手教員に対する研修等の機会を与え、学級経営能力を育成していきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	学校教育課	事業	魅力ある学校づくり推進事業費	予算科目	01一般会計・10 教育費・01教育総務費・02教育指導費
施策	1-2-1 豊かな感性と健やかな体の育成 1-2-2 魅力ある学校づくりの推進 1-2-3 特色ある学校づくりの推進			創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

事業概要

中学2年生が3日間の職場体験学習を通じて職業観、勤労観を育みます。
標準学力検査・知能検査・Q-U検査、GTEC等を行い、検査結果から学力向上や学級集団づくりに向けた対応を図るとともに、各校毎に地域の自然、文化や伝統産業を活かした特色ある教育活動を推進していきます。

目的

地域に密接した活動と個人の学力等を客観視することにより、主体的に学習に取り組む態度を育むため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	児童生徒の学習状況を把握し、必要に応じた学習活動を提供できる状態	保護者が短歌学習などの「上山市ならではの特色ある教育活動が展開している」と感じている割合が、前年度を上回る。	保護者が短歌学習などの「上山市ならではの特色ある教育活動が展開している」と感じている割合が、前年度とほぼ同じでした。
活動指標	特色ある学校づくり推進事業費の補助実施校数	7 校	7 校
	キャリアスタートウィークの実施校数	3 校	3 校
	標準学力検査、知能検査、Q-U検査等の実施校数	7 校	7 校
事業費（千円）		16,342	14,516

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標については、児童生徒・保護者のニーズが多様化するも、教職員数が減少し特色ある教育活動の展開を十分に行えなかったためです。事業費については、英検補助対象を本会場受験のみとしたので申請件数が少なかったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

職場体験学習を通じて職業観、勤労観を育みます。また、学力検査等の結果を学力向上や学級集団づくりに生かすことで、教職員のゆとりを創出し、各校毎の地域の自然や文化を活かした特色ある教育活動を推進していきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	生涯学習課	事業	地域学校協働活動推進事業費	予算科目	01一般会計・10 教育費・05社会教育費・03青少年女性費
施策	1－5－1 生涯学習環境の整備 1－2－3 魅力ある学校づくりの推進			創生総合戦略	該当なし

事業概要

就学児童に多様な体験・学習の機会を提供し、地域全体で子育てを支援する環境を整えることを通して、子どもの安全・安心な居場所づくりを推進します。

目的

生涯学習事業を効率的で効果的に推進するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	放課後子ども教室に参加する児童が、提供されるプログラムに満足している状態	放課後子ども教室に参加する児童が、提供されるプログラムに満足している状態	放課後子ども教室に参加した児童の82%がプログラムに満足しました。
活動指標	放課後子ども教室平均参加人数	15 人	12 人
事業費（千円）		25,541	19,999

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

就学児童数の減少に伴い、放課後子ども教室に参加する児童数も減少したためです。

目標の実現に向けた今後の取組

子どもたちが安心して集まり、さまざまな体験を楽しめる場となるよう、講師やサポーターの体制を整え、プログラムの質の向上に取り組んでまいります。

所属	学校教育課	振興計画	第1章 笑顔 「みんなが笑顔で輝けるまちをつくれます」 1-3 グローバル社会	施策	1-3-1 英語を通じたコミュニケーション能力の育成
----	-------	------	--	----	----------------------------

創生総合戦略 2 かみのやま「来てよし」プロジェクト 移住・回帰につなぐきっかけづくり 都市部からの移住・交流の推進 3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

方針

英語に触れ、親しむ活動や英語を用いてお互いの気持ちや考えを伝え合う活動を通し、英語による実践的なコミュニケーション能力を育成します。

目標

1 小中学校における英語教育の推進

A L Tや地域おこし協力隊等を配置するとともに、小中連携の視点を重視し、言語活動を核とした英語教育を推進します。

また、小中学校で一貫性のある特別な英語教育を提供することにより豊かなコミュニケーションの能力や国際的視野を備えた人材を育成するため、「英語特区」の指定に向けた検討を行います。

2 英語によるコミュニケーション機会の創出

幼児および児童生徒が英語を使ってコミュニケーションを図る機会を創出するとともに、市民による英語の学び直しの機会を提供することで、英語を学ぶ楽しさを味わえるようにします。

また、オンラインによる国際交流の機会やA L T等を講師とした英語体験教室、外国人訪問客への英語によるおもてなしの場など、英語によるコミュニケーションの機会を創出します。

実績

1 小中学校における英語教育の推進

- (1) 外国人A L T 2人及び地域おこし協力隊員 1人を配置し、小学校3年生から中学校3年生の各クラスに週1回以上サポートできる派遣体制を整えました。英語教育コーディネーターを中心に、月1回開催したA L T打合せにて効果的な活動例等を共有し、ニュースレター等の共通プロジェクトに取り組みました。
- (2) 中学校2年生172人が英語技能検定を受験し、今後の指導に生かせるよう、英語教育推進委員会においてその結果を分析しました。
- (3) 中学校の英語授業研究会を2回開催し、授業づくりアドバイザー及び英語教育アドバイザーから助言を受けました。研究会に参加した教員37人が話し合い、授業を改善することができました。

2 英語によるコミュニケーション機会の創出

- (1) A L Tは10回市立保育園を訪問し、子どもたちと一緒に英語活動を実施しました。サマーキャンプに34人の児童生徒が参加し、ゲームを楽しみました。
- (2) 英語教育コーディネーター主催の英検対策講座に6人の生徒が参加し、二次試験の練習を行いました。
- (3) 教育の日に、9人の生徒がエコーホールで英語のスピーチを披露しました。また、加勢鳥の開催時に、6人の生徒がウェルカムスピーチとして、国内外から集まった100人ほどの訪問客の前で、英語による市の歴史、文化の紹介を行いました。

中間アウトカム指標	単位	令和 6 年度実績	令和 7 年度実績	令和 8 年度実績	令和 9 年度実績
英語検定受験料補助金を申請した生徒の割合	%	6	—	—	—
市英語教育推進委員会が実施する「英語についてのアンケート」において「学習以外で日常的に英語を使う機会が十分にあった」※ 1 と回答した児童・生徒の割合 ※ 1 地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語のテレビやホームページを見ると回答	%	38	—	—	—

指標の変化に対する分析

英語検定受験料補助金については、予算500人（生徒数88%）分に対して、34人（生徒数の6%）が申請しました。多くの生徒が塾や学校の準会場で受験し、令和6年度は本会場の受験のみを対象としたため、申請が少なかったと考えられます。

令和6年に実施したアンケートでは、「学習以外で日常的に英語を使う機会が十分にあった」と回答した児童・生徒は38%でしたが、イベントなどの機会だけではなく、英語によるメディア等が身近になっていると気づかせたことが重要だと考えられます。

目標の実現に向けた今後の取組

令和7年度からは英語検定の準会場においての受験も補助対象としていきます。また、市報掲載や英語教員を通じて情報提供するなどして、制度の認知度を上げていきます。英語教育コーディネーターを中心に、地域おこし協力隊員及びA L T の授業以外の活動で英語を使う機会を創出していきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 学校教育課 事業 地域おこし協力隊推進事業費 予算科目 01一般会計・02 総務費・01総務管理費・06企画費

施策 1－3－1 英語を通じたコミュニケーション能力の育成 創生総合戦略 2 かみのやま「来てよし」プロジェクト 移住・回帰につなぐきっかけづくり
都市部からの移住・交流の推進

事業概要

小学校の外国語授業・外国語活動補助を円滑に行うため、市内小学校に日本人外国語指導助手（ALT）を派遣します。

目的

英語教育を充実させることにより、社会が求める国際的な上山の子どもを育てる学校体制を整えるため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	英語の学力の中で特に話すこと、聞くことの分野で偏差値等が伸びる状態	話すこと、聞くことの分野で偏差値が全国平均と同値になる状態 集中的英語学習体験の実施により、英語への関心・意欲が伸びる状態	話すことの分野で偏差値が全国平均を下回りましたが、聞くことの分野では、全国平均とほぼ同値となりました。 集中的英語学習体験の実施により、英語への関心・意欲が伸びました。
	地域おこし協力隊員配置人数	1 人	1 人
活動指標	イングリッシュ・キャンプ実施回数	1 回	1 回
事業費（千円）		5,257	4,096

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

教材研究の時間及び研修の機会を確保することで教員の授業力を向上させ、地域おこし協力隊員を効果的に活用し、英語を聞くこと、話すことの言語活動を推進します。外国語及び多文化へ触れる体験型イベントの開催等により、外国語への関心・意欲を促します。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 学校教育課 事業 英語教育推進事業費 予算科目 01一般会計・10 教育費・01教育総務費・02教育指導費

施策 1－3－1 英語を通じたコミュニケーション能力の育成 創生総合戦略 3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

事業概要

小学校の外国語・外国語活動、中学校の英語科授業補助のため市内小中学校に外国語指導助手（ＡＬＴ）を派遣します。また、市内の児童生徒等の英語学習機会を拡充するため、英語教育コーディネーターを配置します。

目的

英語教育を充実させることにより、グローバル社会を生きるためにコミュニケーション能力を備えた上山の子どもを育てる体制を整えるため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	英語の学力の中で特に話すこと、聞くことの分野で偏差値等が伸びる状態	話すこと、聞くことの分野で偏差値が全国平均と同値になる状態 ＡＬＴは各学級の外国語・外国語活動・英語科の授業へ週1回派遣されている状態	話すことの分野で偏差値が全国平均を下回りましたが、聞くことの分野では、全国平均とほぼ同値となりました。 ＡＬＴを各学級の外国語・外国語活動・英語科の授業へ週1回派遣しました。
活動指標	J E TプログラムＡＬＴ配置人数	2 人	2 人
	各学級の外国語・外国語活動・英語科の授業への週間ＡＬＴ派遣回数	1 回	1 回
	英語教育コーディネーター配置人数	1 人	1 人
事業費（千円）		16,841	13,392

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

J E TプログラムＡＬＴの1人が、前半任期終了後中途退職したため、3か月分の報酬等及び帰国費用弁償の支払い義務が発生せず、支出が生じませんでした。

目標の実現に向けた今後の取組

教材研究の時間及び研修の機会を確保することで教員の授業力を向上させ、ＡＬＴを効果的に活用し、英語を聞くこと、話すこと等の言語活動をととしてコミュニケーションを図る教育活動を推進します。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	学校教育課	事業	教職員研修費	予算科目	01一般会計・10 教育費・01教育総務費・02教育指導費
施策	1-2-2 魅力ある学校づくりの推進 1-3-1 英語を通じたコミュニケーション能力の育成			創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

事業概要

上山市教育振興基本計画に基づき、大学や学術機関と連携した各種研修・講座を開催します。また、Q-U検査と学力検査のデータ分析から学級集団づくりを基盤とした担任力及び学力向上のための研修会を開催します。

目的

学級集団や学力の状況を客観的データで分析することや、講師の招へい、各種研修会の開催により担任力及び確かな学力の向上を図るため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	児童生徒が安心して楽しく意欲的に学校生活を送ることができる状態	児童生徒が学校生活や学習に満足し「学校に行くのは楽しい」と思っている状態 経験5年未満の教員に本市の課題に応じた研修を提供できる状態	児童生徒が「学校に行くのは楽しい」と思っている状態は、今年度は80%で前年度とほぼ同じでした。 経験5年未満の教員に本市の課題に応じた研修を提供しました。
活動指標	英語教育アドバイザーによる研修会	7 回	7 回
	Q-U検査活用・学級づくり研修会の実施回数	7 回	7 回
	中堅教員のアドバイザーへの起用人数	3 人	3 人
事業費（千円）		1,658	1,082

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

十分な対応ができるように予算を確保しましたが、児童生徒数の減少と対応する教職員の減少により予算の範囲内で対応できたためです。

目標の実現に向けた今後の取組

学校生活をさらに安心して楽しく送ることができるように、Q-U検査活用の充実とOJT機能の強化が図れるような研修を企画・運営していきます。

所属	教育企画課	振興計画	第1章 笑顔 「みんなが笑顔で輝けるまちをつくります」 1-4 学校施設	施策	1-4-1 学校施設等の適正な維持管理と運営
----	-------	------	---	----	------------------------

創生総合戦略 5 連携施策等 広域的な行政体制づくり 広域行政体制の積極的推進

方針

安全・安心で、多様な学習内容や形態に対応できる施設整備を図ります。

目標

- 1 学校施設・設備の良好な環境整備
学校施設・設備の老朽化等に伴う改修や整備が引き続き必要です。良好な教育環境のため長寿命化改修を中心とした計画的な老朽化対策工事や修繕を進めるとともに、教材等の整備を引き続き進めます。
- 2 安全・安心な防犯対策の推進
近年、学校に不審者が侵入する事件が全国的に発生しています。不審者の学校侵入を防止するための対策として、防犯設備の整備を推進します。
- 3 学校給食センターの適切な管理運営
施設・設備等の老朽化に伴う更新および修繕を引き続き計画的に進めるとともに、定期的な保守点検と衛生管理の徹底を図り、安全・安心で栄養バランスのとれたおいしい給食を安定的に提供します。
- 4 ICT環境の充実
GIGAスクール構想によって整備されたICT機器を利活用し、一人ひとりの学習進度に合わせた教育を推進するほか、校務効率化を図ります。

実績

- 1 学校施設・設備の良好な環境整備
(1) 上山市学校施設長寿命化計画を改定し、それを基に計画的に環境改善工事を1校行うとともに、老朽箇所の改修工事や急な修繕などの対応を行いました。
また、計画的に学校の備品や教材の更新、整備を行いました。
- 2 安全・安心な防犯対策の推進
(1) 校内への不審者侵入防止対策の一つとして、来校者を職員室で確認できるように小・中学校の昇降口と職員室をつなぐモニター付きドアホン及び電気錠を設置しました。
- 3 学校給食センターの適切な管理運営
(1) 老朽化している設備等の更新や修繕について、状況を鑑み、優先順位を適宜定めながら行い、安全で安心な給食提供を実施しました。
- 4 ICT環境の充実
(1) 令和元年以降に導入した機器類が更新時期を迎えることから、動作環境の遅さなど現在抱える課題解決に向けたネットワーク環境、セキュリティ対策、端末等の選定について教職員と協議し、第2期GIGAスクール構想に基づくフルクラウド環境や端末整備について合意形成しました。また、整備に係る国の交付金について調整を図り財源を確保しました。

中間アウトカム指標	単位	令和 6 年度実績	令和 7 年度実績	令和 8 年度実績	令和 9 年度実績
環境改善のための工事を実施した学校の数	校	1	—	—	—
学校給食施設・設備等における食中毒や異物混入による事故発生件数	件	8	—	—	—

指標の変化に対する分析

工事を実施した学校の数について、上山市学校施設長寿命化計画に基づき工事を行っているため 1 校の工事となりました。
異物混入件数について、令和 5 年度実績（15 件）に比較して半減しました。

目標の実現に向けた今後の取組

環境改善のための工事について、引き続き上山市学校施設長寿命化計画に基づき工事を進めてまいります。
ＩＣＴ教育の充実については、令和 7 年度にフルクラウドの新教育ネットワーク整備と児童生徒用端末の更新を行うことで課題を解決するとともに、教職員の働き方改革を促すことで、児童生徒に向き合う時間を創出し、児童生徒主体の個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図ります。
また、学校給食について搬入される食材の検収、調理作業時の安全対策の徹底を図り、事故発生の防止に努めます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属

教育企画課

事業

小学校管理費

予算科目

01一般会計・10 教育費・02小学校費・01学校管理費

施策

1－4－1 学校施設等の適正な維持管理と運営

創生総合戦略

該当なし

事業概要

学校施設設備の維持管理及び学校運営に必要な需用費等を措置するとともに、学校司書等の任用や学校備品の購入等を行います。また、学校施設の老朽化に伴う維持修繕工事を行います。

目的

児童生徒が良好な環境のもとで学習できるよう学校施設整備や維持管理に努め、学校運営に寄与するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標 活動指標			
事業費（千円）		342,458	244,549

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

西郷小中学校にかかる委託費及び工事費を令和7年度に繰り越したためです。

目標の実現に向けた今後の取組

上山市学校施設長寿命化計画に基づき、引き続き環境改善のための工事や老朽箇所の修繕、学校備品や教材の更新に努めてまいります。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属

教育企画課

事業

教育振興費

予算科目

01一般会計・10 教育費・02小学校費・02教育振興費

施策

1－4－1 学校施設等の適正な維持管理と運営

創生総合戦略

該当なし

事業概要

授業に必要な消耗品及び理科教育備品を整備するとともに、学校図書館に新着図書の整備を行います。

目的

現行学習指導要領に対応した教材整備基準に基づき教材備品等を整備し、教育活動の充実を推進するとともに、「上山市子ども読書活動推進計画」に基づき、学校図書館における蔵書の充実、整備に努め、読書習慣を身に付けることができる環境づくりを目指すため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標 活動指標			
事業費（千円）		4,762	4,483

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

教材整備基準に基づき教材備品等を更新、学校図書館における蔵書の充実、整備に努めてまいります。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属

教育企画課

事業

教育機器整備事業費

予算科目

01一般会計・10 教育費・02小学校費・02教育振興費

施策

1－4－1 学校施設等の適正な維持管理と運営

創生総合戦略

該当なし

事業概要

時代に対応したＩＣＴ機器の整備やＩＣＴ機器を安全・安心に使用できるようセキュリティ対策を行います。

目的

ＩＣＴ環境の充実を図るため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標 活動指標			
事業費（千円）		23,417	23,343

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

令和7年度に、フルクラウドの教育ネットワーク整備と児童生徒用端末の更新を行うことで、動作環境の遅さなどの課題を解決するとともに、教職員の働き方改革を促すことで、児童生徒に向き合う時間を創出し、個別最適・協働的な学びの一体的な充実を図ります。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属

教育企画課

事業

中学校管理費

予算科目

01一般会計・10 教育費・03中学校費・01学校管理費

施策

1－4－1 学校施設等の適正な維持管理と運営

創生総合戦略

該当なし

事業概要

学校施設設備の維持管理及び学校運営に必要な需用費等を措置するとともに、学校司書等の任用や学校備品の購入等を行います。また、学校施設の老朽化に伴う維持修繕工事を行います。

目的

児童生徒が良好な環境のもとで学習できるよう学校施設整備や維持管理に努め、学校運営に寄与するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標 活動指標			
事業費（千円）		198,976	185,924

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

上山市学校施設長寿命化計画に基づき、引き続き環境改善のための工事や老朽箇所の修繕、学校備品や教材の更新に努めてまいります。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属

教育企画課

事業

教育振興費

予算科目

01一般会計・10 教育費・03中学校費・02教育振興費

施策

1－4－1 学校施設等の適正な維持管理と運営

創生総合戦略

該当なし

事業概要

授業に必要な消耗品及び理科教育備品を整備するとともに、学校図書館に新着図書の整備を行います。

目的

現行学習指導要領に対応した教材整備基準に基づき教材備品等を整備し、教育活動の充実を推進するとともに、「上山市子ども読書活動推進計画」に基づき、学校図書館における蔵書の充実、整備に努め、読書習慣を身に付けることができる環境づくりを目指すため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標 活動指標			
事業費（千円）		3,370	3,244

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

教材整備基準に基づき教材備品等を更新、学校図書館における蔵書の充実、整備に努めてまいります。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属

教育企画課

事業

教育機器整備事業費

予算科目

01一般会計・10 教育費・03中学校費・02教育振興費

施策

1－4－1 学校施設等の適正な維持管理と運営

創生総合戦略

該当なし

事業概要

時代に対応した教育環境の整備

目的

I C T 環境の充実を図るため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標 活動指標			
事業費（千円）		16,252	14,676

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

令和7年度に、フルクラウドの教育ネットワーク整備と児童生徒用端末の更新を行うことで、動作環境の遅さなどの課題を解決するとともに、教職員の働き方改革を促すことで、児童生徒に向き合う時間を創出し、個別最適・協働的な学びの一体的な充実を図ります。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	教育企画課	事業	給食センター管理費	予算科目	01一般会計・10 教育費・04学校給食費・01学校給食費
施策	1－4－1 学校施設等の適正な維持管理と運営			創生総合戦略	5 連携施策等 広域的な行政体制づくり 広域行政体制の積極的推進

事業概要

市内小・中学校の児童・生徒に給食を提供するため下記の事業を実施します。

- （１）学校給食センターの効率的な運営・管理
- （２）設備等の修繕及び計画的な更新
- （３）食物アレルギー対応食の提供
- （４）給食費の滞納繰越分の対応

目的

児童・生徒に安全・安心な給食を提供するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標			
活動指標			
事業費（千円）		314,019	299,512

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

施設整備後20年を経過したことから、施設内設備等の点検を実施し、優先順位を決めながら引き続き更新・修繕を行い、安心安全な給食の提供に努めて参ります。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	学校教育課	事業	教育支援充実事業費	予算科目	01一般会計・10 教育費・01教育総務費・02教育指導費
施策	1－2－2 魅力ある学校づくりの推進 1－4－1 学校施設等の適正な維持管理と運営			創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

事業概要

様々な障がいや不安を抱えた児童生徒に対し、個々のニーズに応じた支援等を行う人員及び中学校における部活動指導員の配置を行います。また、授業や校務におけるＩＣＴ活用を推進するため支援員の派遣を行います。

目的

通常学級及び特別支援学級に在籍する子どもにきめ細かい指導を行うとともに、家庭の問題や言語上の課題を抱え、学習困難な子どもに対して学校の窓口となり子どもも保護者も安心できる学校づくりを推進するため。
教員の働き方改革の実現を図り、学校教育活動の充実を図るため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	様々な障がいや不安を抱える児童生徒が、支援を受けることで学校へ行くことが楽しいと思う状態	小中学校全校に学校教育支援員を配置している状態	小中学校全校に学校教育支援員を配置しました。
活動指標	学校生活指導員配置人数	2 人	3 人
	学校教育支援員配置人数	12 人	12 人
	別室登校学習指導員、自立支援員配置人数	3 人	3 人
事業費（千円）		55,971	49,773

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

教職員のＩＣＴ活用が推進され、事業費についてＩＣＴ活用支援業務委託による支援員の派遣を抑えることができたためです。

目標の実現に向けた今後の取組

支援を必要とする児童生徒の実態を把握し、適正な配置を行い、教員の働き方改革と学校教育活動の充実を図っていきます。

所属

教育企画課

振興計画

第1章 笑顔 「みんなが笑顔で輝けるまちをつくれます」
1-4 学校施設

施策

1-4-2 学校規模の適正化の推進

創生総合戦略

該当無し

方針

活力ある学校教育の実現に向け、学校規模の適正化を図ります。

目標

1 よりよい学校の在り方の検討

児童生徒数はさらに減少傾向が見込まれます。一定規模の集団生活の中で、多様な考え方に触れ、社会性を養うとともに確かな学力を獲得するため、引き続き、今後想定される複式学級の解消に努める必要があります。

今後の人口の動態をふまえ、教育課程の目的を達成するために必要な、望ましい学校規模およびよりよい学校の在り方など、検討委員会において将来構想の策定を進めます。

実績

1 よりよい学校の在り方の検討

- (1) 上山市みらいの学校構想検討委員会を設置（保護者代表・有識者等15名で構成。2回開催（8月・12月））。教育DXの進展、経済活動のグローバル化及び少子化による児童生徒の急激な減少等の加速度的に変化する社会に対応し、本市小・中学校の将来のあり方を示す「上山市みらいの学校構想」を策定するための検討、アンケート調査項目の決定等を行いました。
- (2) 上山みらいの学校づくり意見交換会を開催（全23会場 参加人数188人 9～11月）。検討委員会での協議内容について、広く市民の意見を伺い「上山市みらいの学校構想」の検討を進めるため、保育園、認定こども園、小・中学校、地区公民館で意見交換会を実施しました。
- (3) みらいの学校づくりに関するアンケートの実施（回答数 保護者521人、市民27人、児童生徒636人、教職員117人 令和7年2月～4月）。保護者や児童生徒等の考え・意識をより詳細に把握し、「上山市みらいの学校構想」策定に関する方向性など検討委員会での議論を充実させるため、アンケート調査を実施しました。
- (4) 広報の実施。市報令和7年2月号で取組経過・アンケートの実施を周知しました。また通年で、市ホームページで取組経過を掲載し周知しました。

中間アウトカム指標	単位	令和6年度実績	令和7年度実績	令和8年度実績	令和9年度実績
学校規模適正化に係る会議等の参加人数	人	216	—	—	—

指標の変化に対する分析

学校規模適正化に係る会議等は令和6年度からの取組であり、保護者代表等で構成する検討委員会、全市民対象の意見交換会、アンケート調査など、1年間をかけて段階的に意見聴取を進めるとともに、意見内容の集約や数値化を行ってまいりました。

会議等（検討委員会、意見交換会の合計）の参加人数は216人であり、その中でいただいた意見を基に、アンケート調査項目をより詳細に設定。1,301人の方から、魅力ある学校づくりや時代に対応した教育環境の整備の推進のための方策について回答を頂けたことから、学校規模適正化について一定の意見集約が図られたものと考えられます。

目標の実現に向けた今後の取組

市民との意見交換会・アンケート調査結果から、魅力ある学校づくりや時代に対応した教育環境の整備のための方策として「学校統合」を望む声が大多数であることから、検討委員会では「学校統合」の方向で「上山市みらいの学校構想（案）」の協議を進めております。

「上山市みらいの学校構想（案）」について、改めて市民との意見交換等の機会を設け、教育課程の目的を達成するために必要な望ましい学校規模とよりよい学校の在り方の実現に向けて合意形成を進めてまいります。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	教育企画課	事業	委員会運営費	予算科目	01一般会計・10 教育費・01教育総務費・01教育委員会費
施策	1－4－2 学校規模の適正化の推進			創生総合戦略	該当なし

事業概要

教育委員会の運営及び活動に必要な経費のほか、上山明新館高等学校教育振興会等への負担金を措置します。あわせて、上山市奨学金貸付基金により大学生への奨学金貸与事業を行います。

目的

教育の機会均等、教育水準の維持向上及び地域の実情に応じた教育の振興が図られるよう、公正かつ適正に教育行政を推進するため。また、「上山市教育振興基本計画」のもと、教育の課題やあるべき姿を市長と教育委員とで共有し、教育行政の推進を図るため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標			
活動指標			
事業費（千円）		5,441	5,248

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

上山市教育振興基本計画のもと他県、他市町村との情報交換を行い、当市の実情に応じた教育の振興が図られるように努めてまいります。

所属

生涯学習課

振興計画

第1章 笑顔 「みんなが笑顔で輝けるまちをつくります」
1-5 社会教育

施策

1-5-1 生涯学習環境の整備

創生総合戦略 3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 家庭教育と地域教育の充実

方針

生涯学習環境の整備を図ります。

目標

1 生涯学習の推進

地区公民館では、住民の学習ニーズや地域の抱える課題を的確に捉え、人・自然・歴史・文化等の地域特性を活かした生涯学習を展開し、幅広い年代に多様な学習の機会を提供します。

また、住民が安心して快適に利用できる生涯学習環境の充実を図るため、地区公民館や公民館類似施設を整備・支援し、利用者の利便性の向上を図ります。

2 心豊かな子どもの育成

次代を担う子どもたちの情操や道徳心を培い豊かな人間性を育むため、学校・家庭・地域等多様な主体と連携を図りながら家庭教育の支援に取り組むほか、放課後子ども教室等では、豊かな人材や地域の資源を活用した各種プログラム等を提供することを通して、心豊かな子どもの育成に努めます。

3 多様な体験を通じた人材の育成

人・自然・歴史・文化など、ふるさとの地域特性を活かし、生涯学習の魅力を体感する機会を創出することを通して、これからの地域のコミュニティを担う人材を育成し、心の豊かさを育みます。

実績

1 生涯学習の推進

- (1) 各地区公民館において、各事業の目的や成果と課題を踏まえながら地域の特色を活かした事業、講座や教室を開催し、毎月公民館だよりを発行、各戸に配付するとともに、ホームページによる情報提供を行いました。また、令和4年度から引き続き10地区公民館全てにおいて指定管理者制度による効果的で効率的な運営を行っております。さらに、東地区公民館環境改善工事、宮生地区公民館屋根構造部外壁塗装工事、10地区公民館Wi-Fi整備工事、中山地区公民館集会室床材張替工事、山元地区公民館駐車場盛土工事を行うとともに、利用者の利便性の向上を図るため、皆沢公民館改修工事へ補助金を交付して支援しました。

2 心豊かな子どもの育成

- (1) 市内の保育施設等6施設で家庭教育に関する学習機会等の提供を行いました。また、放課後子ども教室を市内2か所で開催し、放課後・週末の子どもの居場所づくりを行いました。

3 多様な体験を通じた人材の育成

- (1) 子ども育成連絡協議会主催事業について、参加者数が少なくなってきた少年少女ミニバスケットボール大会を令和5年度で廃止し、令和6年度よりドッジボール体験会を開催し、子ども会の活性化と子どもたちの体力増進・健全育成を図りました。海の子山の子交歓会では、事業終了後アンケートを行い「参加してとてもよかった・よかった」は95%に達しました。高校生ジュニアリーダーあすなろでは、自主性を重んじた活動を行い、令和6年度より保

育園ボランティアを実施しました。「保育園児と交流し笑顔を作りたい」という思いのもと、あすなろ自ら作成した企画書をみなみ保育園、しらさぎ保育園に提出し、実施の承諾を得て、両園で実施しました。両園ともに「高校生が自発的に活動しておりとても良い活動」、「園児はとても楽しんで」と好評でした。令和6年度から始まった富士登山交流事業では、本市参加者同士の交流を促進するため班編成を混合にし、登山中は職員および参加者同士の声掛けが多く行われました。声掛けがあったから諦めず登ることができた、仲間の大切さを学べたという意見が多く上がり、学びが多い交流事業となりました。青少年育成市民会議表彰式を開催し、青少年育成功労者といじめ防止標語の表彰を行いました。

中間アウトカム指標	単位	令和6年度実績	令和7年度実績	令和8年度実績	令和9年度実績
公民館事業へ参加した人数	人	20,963	—	—	—
放課後子ども教室参加児童の満足度	%	82	—	—	—

指標の変化に対する分析

公民館事業へ参加した人数につきましては、コロナ禍があげ、各地区公民館において実施する公民館事業参加者が毎年度、徐々に増加してきており、令和6年度につきましてもコロナ禍で公民館事業への参加を控えていた方が戻ってきたものと考えております。

放課後子ども教室参加児童の満足度については、児童の興味や関心を引く、普段体験できないようなプログラムの実施により、児童が楽しさや充実感を得やすかったと考えております。

目標の実現に向けた今後の取組

今後も地区公民館を中心に人・自然・歴史・文化等の地域特性を活かした生涯学習を展開し、幅広い年代に多様な学習の機会を提供してまいります。また、放課後子ども教室ではアンケートを行い、子どもたちや保護者からの意見を収集し、得られたフィードバックを基にプログラムを改善し、満足度の向上に努めます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	生涯学習課	事業	生涯学習推進費	予算科目	01一般会計・10 教育費・05社会教育費・01社会教育総務費
施策	1－5－1 生涯学習環境の整備	創生総合戦略	該当なし		

事業概要

生涯学習活動の支援を通して多様な生涯学習を推進します。

目的

人・自然・歴史・文化など地域の特性を活かした生涯学習を展開するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	生涯学習が推進されている状態	生涯学習が推進されている状態	地区公民館や生涯学習団体による講座等を開催しました。
活動指標	社会教育委員会開催回数	2 回	2 回
事業費（千円）		3,285	2,085

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

社会教育指導員の採用が年度当初からできず、7月下旬から採用となったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

地区公民館を中心に人・自然・歴史・文化など地域の特性を活かした生涯学習を展開し、また生涯学習団体による市民参加型の学びの場を支援してまいります。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属

生涯学習課

事業

公民館費

予算科目

01一般会計・10 教育費・05社会教育費・02公民館費

施策

1－5－1 生涯学習環境の整備

創生総合戦略

該当なし

事業概要

市民が安全に安心して学習できる生涯学習環境を整備します。

目的

地域活動の拠点施設である地区公民館を効率的に管理運営するとともに、安全で快適に利用できるようにするため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標 活動指標			
事業費（千円）		151,031	148,814

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

全ての公民館が安全に安心して学習できる施設となるよう適切な公民館の維持管理に努め、また効果的で効率的に運営できるよう指定管理者制度による運営を行ってまいります。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	生涯学習課	事業	青少年費	予算科目	01一般会計・10 教育費・05社会教育費・03青少年女性費
施策	1－5－1 生涯学習環境の整備 1－10－1 参加しやすい市民交流の実施			創生総合戦略	該当なし

事業概要

青少年育成のための各種事業を実施します。

目的

青少年育成に関する各種事業を展開し、心豊かな子どもの育成と郷土愛のある青年づくりを推進します。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	青少年の健全育成の推進が図られている状態	青少年の健全育成の推進が図られている状態	青少年の健全育成を推進しました。
活動指標	ジュニアリーダーあすなろ会員数	12 人	22 人
	他自治体との青少年交流事業回数	2 回	2 回
	二十歳のつどい参加率	75 %	73.6 %
事業費（千円）		4,864	3,768

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

二十歳のつどいの記念品や海の子山の子交歓会の宿泊費用等において、想定より安価であったためです。ジュニアリーダーあすなろ会員数については、北中及び南中の3年生にあすなろについて説明を行い、また会員からの紹介もあって増となりました。

目標の実現に向けた今後の取組

青少年の健全育成のため、引き続き各取組・各事業の魅力ある企画をしていきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 生涯学習課 事業 地域学校協働活動推進事業費 予算科目 01一般会計・10 教育費・05社会教育費・03青少年女性費

施策 1－5－1 生涯学習環境の整備 1－2－3 魅力ある学校づくりの推進 創生総合戦略 該当なし

事業概要

就学児童に多様な体験・学習の機会を提供し、地域全体で子育てを支援する環境を整えることを通して、子どもの安全・安心な居場所づくりを推進します。

目的

生涯学習事業を効率的で効果的に推進するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	放課後子ども教室に参加する児童が、提供されるプログラムに満足している状態	放課後子ども教室に参加する児童が、提供されるプログラムに満足している状態	放課後子ども教室に参加した児童の82%がプログラムに満足しました。
活動指標	放課後子ども教室平均参加人数	15 人	12 人
事業費（千円）		25,541	19,999

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

就学児童数の減少に伴い、放課後子ども教室に参加する児童数も減少したためです。

目標の実現に向けた今後の取組

子どもたちが安心して集まり、さまざまな体験を楽しめる場となるよう、講師やサポーターの体制を整え、プログラムの質の向上に取り組んでまいります。

所属 生涯学習課 振興計画 第1章 笑顔 「みんなが笑顔で輝けるまちをつくります」 1-5 社会教育 施策 1-5-2 図書館機能の充実と読書活動の推進

創生総合戦略 2 かみのやま「来てよし」プロジェクト 地域資源を生かした環境づくり 文化財の適正な保存と活用の推進

方針

利用しやすい図書館づくりと読書に親しみやすい環境づくりを進めます。

目標

1 魅力ある図書館づくり

図書資料等を計画的・体系的に収集し、所蔵資料の充実を図り、利用者の多様なニーズや課題に対応することで、読書活動を推進します。

また、子ども達が読書を通して感性を磨き、豊かな想像力や思いやりの心をはぐくみ、人間性を養うことができるよう、読書に親しむ機会の提供と環境の整備・充実を図ることで子どもの読書活動を推進します。

さらに、生涯学習の拠点施設として、地域関連講座や企画展等を開催し、学びの機会を提供するとともに、図書館来館のきっかけづくりを行い、生涯学習を推進します。

実績

1 魅力ある図書館づくり

(1) 図書資料等の購入や寄贈本なども含め、3,073点の受入れを行いました。6年度は寄贈により市内の民俗学的な資料が充実しました。新着本については、利用者の目に留まり利用が進むよう、新着本コーナーを引き続き設置しています。

ブックスタートアドバイザーによる子育て支援(マタニティ)ブックスタート講座を開催しました。こどもの読書週間イベントやテーマ展示、長期休みに合わせオススメ本のチラシ配布など啓発活動を行い、子どもの読書活動を推進しました。

生涯学習拠点施設として113回の事業・イベント(月1回の名作映画鑑賞会を含む)と、時節や時事問題に応じた20のテーマ展示を実施し、関連図書を紹介・展示することで、図書館資料を活用しました。

図書館だより「来ぶらり」の発行を年2回行った他、市報・チラシ・ホームページ・SNS(Facebook)・市公式LINE・山形県生涯学習情報システムなどの媒体を使い広報活動を行いました。

図書館の開架窓にUVカット、飛散防止、遮熱対応のガラスフィルムを貼付し、またWi-Fi環境の電波の強度、範囲を強化し、安全で快適な読書環境づくりを行いました。

中間アウトカム指標	単位	令和6年度実績	令和7年度実績	令和8年度実績	令和9年度実績
図書館の入館者数	人	82,266	—	—	—
図書館での貸出冊数	冊	81,688	—	—	—

指標の変化に対する分析

入館者数、貸出冊数ともに前年度より微減となりましたが、会館日数も少ないため一日平均で見ると入館者はほぼ増減ありません。貸出冊数の減少については、館内閲覧者や学習のための利用者の増加が考えられます。

目標の実現に向けた今後の取組

図書資料等を充実させながら、各種事業を企画開催するとともに広報の方法を工夫して来館のきっかけづくりを行い、利用者増を図ります。また、親しみやすい図書館となるよう環境整備に努め、子どもの読書活動も含む生涯学習を推進してまいります。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属

生涯学習課

事業

図書館管理運営費

予算科目

01一般会計・10 教育費・05社会教育費・05図書館費

施策

1－5－2 図書館機能の充実と読書活動の推進

創生総合戦略

2 かみのやま「来てよし」プロジェクト 地域資源を生かした環境づくり 文化財の適正な保存と活用の推進

事業概要

自主的な学びの場、読書活動の振興を担う機関として、また、地域の文化・知的情報の拠点として、利用者及び住民の要望や社会の要請に応えることができるよう地域の実情に即した市立図書館の運営を行います。

目的

図書資料等を計画的・体系的に収集し、所蔵資料の充実を図り、利用者の多様なニーズや課題に対応することで、読書活動を推進するため。生涯学習の拠点施設として、地域関連講座や企画展等を開催し、学びの機会を提供するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	図書館資料を活用し読書活動が推進されている状態 地域関連講座等により学びの機会が提供されている状態	図書館資料を活用し読書活動が推進されている状態 地域関連講座等により学びの機会が提供されている状態	図書館資料を活用し読書活動を推進しました。 地域関連講座等により学びの機会を提供しました。
活動指標	図書館資料を用いたテーマ展示回数	20 回	20 回
	館内でのイベント回数	110 回	115 回
事業費（千円）		71,819	67,008

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

計画的・体系的な資料の整備を行うとともに、市内各学校や団体との連携を推進して市民及び利用者のニーズや時勢に沿った事業・イベント等を実施し、学びの機会を提供してまいります。

所属

生涯学習課

振興計画

第1章笑顔 「みんなが笑顔で輝けるまちをつくれます」
1-6 文化財・文化芸術

施策

1-6-1 文化財愛護による地域づくり

創生総合戦略 2 かみのやま「来てよし」プロジェクト 地域資源を生かした環境づくり 文化財の適正な保存と活用の推進

方針

文化財愛護を通して地域の魅力を高めます。

目標

1 文化財の適正な保存・管理と利活用の推進

市民参加型の保全活動等を継続開催することを通して、文化財の適正な保存や活用を図るとともに、文化財に携わるコミュニティの育成や文化財関連情報の効果的な発信を通して文化財愛護の意識の醸成に努めます。

実績

1 文化財の適正な保存・管理と利活用の推進

- (1) 歴史的建造物を適正に保存し、後世に正しく伝承するため、茅葺屋根等を適正に修繕しました。修繕実績：武家屋敷「山田家」、櫓下宿「旧武田家」、春雨庵本堂
- (2) 国史跡「羽州街道金山越」で、市民参加による史跡の保全活動を実施しました。市民史跡保全活動実績：金山峠越え羽州街道における史跡保全活動5回参加人数82人
- (3) 市民が集い交流する活動拠点として歴史的建造物を活用しました。武家屋敷「旧曾我部家」活用実績：文化団体数7団体、利用回数27回、利用者数1,870人/放課後子ども教室「かみのやま寺子屋」参加児童延べ人数1,818人

中間アウトカム指標	単位	令和6年度実績	令和7年度実績	令和8年度実績	令和9年度実績
公開文化財施設の入館者数	人	9,832	—	—	—
市民史跡※2 保全活動参加者数 ※2 金山峠、櫓下宿、土矢倉古墳	人	82	—	—	—

指標の変化に対する分析

入館者数につきましては、コロナ禍での減少から武家屋敷は徐々に増加傾向、その他施設は平準化しています。市民史跡保全活動参加者数はリピーターにより一定数を維持しています。

目標の実現に向けた今後の取組

文化財の適正な保存と積極的な公開活用を図るとともに、諸調査による地域資源の磨き上げや調査成果の地域への還元を通して、ふるさと理解の推進と郷土愛の醸成を図り、住民主導の歴史まちづくりを推進します。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	生涯学習課	事業	文化財等保護管理費	予算科目	01一般会計・10 教育費・05社会教育費・04文化芸術費
施策	1－6－1 文化財愛護による地域づくり			創生総合戦略	2 かみのやま「来てよし」プロジェクト 地域資源を生かした環境づくり スポーツを通じた地域活性化の推進

事業概要

ふるさとの歴史を今に伝える文化財を適正に保存活用し、正しく後世に継承します。

目的

歴史遺産である文化財の適正な保存と活用を通して、ふるさとに対する誇りと郷土愛を育むため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	歴史的建造物を適正に保存管理し、正しく後世に継承する状態	歴史的建造物の適正保存管理と活用が行われている状態	歴史的建造物の適正保存管理と活用を行いました。
活動指標	歴史的建造物の入館者及び利用者数	8,000 人	9,832 人
	歴史的建造物保存管理棟数	4 棟	4 棟
	地元小学校の地域学習受入回数	4 回	4 回
事業費（千円）		8,388	6,979

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

歴史的建造物を適正に保存するとともに、文化財の調査や公開活用を通してふるさとに対する理解を深め、郷土愛の醸成に努めます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	生涯学習課	事業	武家屋敷保存活用事業費	予算科目	01一般会計・10 教育費・05社会教育費・04文化芸術費
施策	1－6－1 文化財愛護による地域づくり			創生総合戦略	2 かみのやま「来てよし」プロジェクト 地域資源を生かした環境づくり スポーツを通じた地域活性化の推進

事業概要

藩政時代の面影を今に伝える4軒の武家屋敷（いずれも市指定文化財）を適正に保存活用し、正しく後世に継承します。

目的

本市を代表する歴史的建造物である武家屋敷の保存と活用を通して、地域資源に磨きをかけ、ふるさとに対する誇りと郷土愛を育むため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	武家屋敷を適正に保存管理し、活用が図られている状態	武家屋敷の適正な保存・整備・活用が図られている状態	武家屋敷の適正な保存・整備・活用が行われました。
活動指標	武家屋敷保存軒数	4 軒	4 軒
	旧曾我部家活用団体数	7 団体	8 団体
事業費（千円）		5,500	4,675

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

茅葺文化を地域で守る「かみのやま草屋根プロジェクト」の支援を通して茅葺の歴史的建造物を適正に保存するとともに、武家屋敷の風情を活かした文化活動の拠点施設として多様に活用することを通して、ふるさと理解をさらに深め、郷土愛の醸成に努めます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	生涯学習課	事業	国史跡保存活用整備事業費	予算科目	01一般会計・10 教育費・05社会教育費・04文化芸術費
施策	1－6－1 文化財愛護による地域づくり			創生総合戦略	2 かみのやま「来てよし」プロジェクト 地域資源を生かした環境づくり スポーツを通じた地域活性化の推進

事業概要

日本の歴史を今に伝える国史跡を適正に保存し、史跡を構成する貴重な遺構群を調査することを通して史跡の価値をより一層高め、上山独自の地域性を活かしたふるさとの活性化に寄与します。金山越え羽州街道における市民史跡保全活動（県補助事業、補助率10/10）

目的

国史跡を正しく管理し、貴重な地域資源に磨きをかけることを通して、地域の魅力を高め、ふるさとに対する誇りと郷土愛を育むため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	国史跡を適正に保存管理し、活用が図られている状態	国史跡の適正な保存・整備・活用が図られている状態	国史跡の適正な保存・整備・活用が行われました。
活動指標	市民史跡保全活動回数	3 回	3 回
	国史跡探訪会回数	3 回	3 回
事業費（千円）		7,090	5,441

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

国史跡羽州街道金山越において倒木等の発生が無く、倒木撤去に係る重機の使用及び運搬に係る支出が無かったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

地区組織と連携して史跡の保存活用活動を継続します。また、保存活用計画に基づき、遺構の調査や記録保存を通して史跡の価値を高め、ふるさとに対する誇りと郷土愛の醸成に努めます。

所属

生涯学習課

振興計画

第1章 笑顔 「みんなが笑顔で輝けるまちをつくれます」
1-6 文化財・文化芸術

施策

1-6-2 文化芸術の環境づくり

創生総合戦略

該当なし

方針

文化芸術活動の振興を図ります。

目標

1 文化芸術団体の育成と活動の支援

文化芸術団体が行きと組む自主的な活動と団体の育成を支援するとともに、文化団体協議会をはじめとする関係団体と連携し、文化芸術の振興を図ります。

また、文化芸術団体との連携のもと、地域で育まれてきた文化や芸術を体験する機会を提供することを通して、ふるさと理解の推進と郷土愛の醸成に努めます。

2 斎藤茂吉のふるさとづくり

斎藤茂吉のふるさととして、関係団体と連携を図りながら茂吉に縁のある多様な催事の開催を支援し、地域に根差した文化の振興を図ります。

実績

1 文化芸術団体の育成と活動の支援

(1) 文化団体協議会と共催で「第68回上山市総合文化祭」を開催し、活動発表の場を提供することで文化芸術活動への参加意欲の喚起を行ったほか、「第60回上山市文化芸術功労者を称える会」を開催し4個人を表彰しました。

2 斎藤茂吉のふるさとづくり

(1) 斎藤茂吉の生誕日や命日に合わせた魅力発信のため「第50回斎藤茂吉記念全国大会」及び「第58回茂吉忌合同歌会」を開催したほか、児童・生徒を対象とした「第22回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール」では国内外の134校から8,407首の応募がありました。

中間アウトカム指標	単位	令和6年度実績	令和7年度実績	令和8年度実績	令和9年度実績
市総合文化祭来場者延べ人数	人	5,650	—	—	—
斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール等における本市からの応募数	首	1,413	—	—	—

指標の変化に対する分析

市総合文化祭については、同会場でマルシェを開催するなど来場者増に向けた新たな取組を実施したため、令和５年度と比較して令和６年度の来場者が増加したものと考えております。

斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール等における本市からの応募数に関して、令和５年度と比較し令和６年度の応募数が減少したことについては、少子高齢化等や市内の人口の減少に伴い減少したものと考えられます。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き市内文化団体と連携を図り、特に小・中学生が文化芸術活動に触れる多様な機会を提供するとともに、自主的な文化活動の支援を通して文化芸術活動の環境づくりに取り組めます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 生涯学習課 事業 文化芸術振興事業費 予算科目 01一般会計・10 教育費・05社会教育費・04文化芸術費

施策 1－6－2 文化芸術の環境づくり 創生総合戦略 該当なし

事業概要

文化芸術活動に取り組む団体や指定文化財の保護団体（保存会）を支援するとともに、文化芸術活動に功績のあった個人団体を文化芸術功労者として顕彰します。茂吉のふるさととして斎藤茂吉全国大会など茂吉に縁のある多様な催事を開催します。また文化芸術団体が日頃の活動の成果を発表するとともに、文化芸術作品に身近でふれる機会として、上山市総合文化祭を開催します。

目的

文化芸術団体や文化財に携わる保護団体の支援及び顕彰を通して文化芸術に対する意識の高揚を図り、心豊かな人づくりに資するとともに、優れた文化芸術を鑑賞する機会を提供することを通して、文化芸術に対する意識の高揚を図り、心豊かな人づくりに資するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	文化芸術活動や文化財保護活動が住民主導で行われている状態	文化芸術団体及び文化財保護団体が支援されている状態	文化芸術団体及び文化財保護団体を支援しました。
活動指標	文化団体協議会の加盟団体数	20 団体	22 団体
	斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール応募短歌数	10,000 首	8,407 首
事業費（千円）		5,610	5,105

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール応募短歌数の減少について、応募学校数は昨年128校に対し134校と微増していますが、少子化による児童・生徒数の減少により1校あたりの応募数が減少したと考えられるためです。

目標の実現に向けた今後の取組

文化芸術の振興を図るため、郷土芸能や伝統文化を保存継承する保存会や文化団体協議会等の活動支援を通して、文化芸術に対する意識のさらなる高揚を図り、心豊かな人材の育成を図ります。

所属 福祉課 振興計画 第1章笑顔 「みんなが笑顔で輝けるまちをつくれます」
1-7 障がい者福祉 施策 1-7-1 障がい者の自立支援と社会参加の推進

創生総合戦略 該当無し

方針

障がい者が自立した生活を送ることができるよう、障害の特性や生活状況に応じた適切なサービスが提供され、障害のある人もない人もともに生き生きと生活できる社会の実現に向けて、安心して生活ができる環境や支援体制の整備に取り組みます。

目標

1 障がい者の自立支援の推進

障害の特性や生活状況に応じた適正なサービスが提供されることにより、地域で自立して暮らせるよう、市内福祉サービス事業所等で構成される地域自立支援協議会と連携し、地域生活支援事業等のサービスや、包括的な相談支援体制の強化を図ります。

2 障がい者の社会参加の促進

障がい者が、それぞれの適性やニーズに応じた就労の場や働き方を選択して働くことができるよう支援します。また、障がい者に対する理解を深める啓発活動により心豊かに暮らせる社会環境づくりを目指します。

実績

1 障がい者の自立支援の推進

(1) 地域の相談支援の拠点として総合的な相談業務を行う基幹相談支援センターを設置し、地域で暮らす障がいのある方とその家族、関係事業者の支援体制の強化に努め、新規サービス利用者数は令和5年度の28名から令和6年度54名と倍増しました。

2 障がい者の社会参加の促進

(1) 地域自立支援協議会と連携し、市内障がい者支援施設に対し年2回の研修会を実施したほか、障がい者施設商品の販売促進と障がい者への理解促進のためマルシェを2回開催、市内イベントへも1回参加し、参加事業所数は述べ24事業所で前年対比20%の増となりました。

中間アウトカム指標	単位	令和6年度実績	令和7年度実績	令和8年度実績	令和9年度実績
障害福祉サービスの利用割合	%	24.1	—	—	—
就労支援施設等利用割合	%	27.4	—	—	—

指標の変化に対する分析

相談支援体制の充実と障がい者の高齢化などから障がいサービスの利用割合が増加しています。
また就労に関するサービスについても就労環境の変化や障がいに対する認識の高まりなどから増加傾向にあります。

目標の実現に向けた今後の取組

多様となっている障がい福祉サービスを円滑に実施し、より適切に提供できるよう、関係機関等の連携による取り組みや、在宅で生活する障がいのある人の高齢化や障がい程度が進行した場合でも地域での生活が継続できる相談体制の整備を促進します。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	健康推進課	事業	重度心身障がい（児）者医療給付費	予算科目	01一般会計・03 民生費・01社会福祉費・05医療給付費
施策	1－7－1 障がい者の自立支援と社会参加の推進	創生総合戦略	該当なし		

事業概要

重度心身障がい者（児）に対し、医療機関等での窓口負担を助成します。

（１）受給者数 680人

（２）給付対象者

ア 身体障害者手帳１級、２級、療育手帳Ａ所持者 イ 公的年金各法の障害等級１級の障害年金受給者 ウ 特別児童扶養手当１級該当者等のいずれか

（３）所得制限 自立支援医療の所得制限額（市民税所得割額235,000円未満）

目的

重度心身障がい者（児）に対する医療給付において、医療機関等での窓口負担を助成し、負担を軽減するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標 活動指標			
事業費（千円）		100,845	97,847

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

今後も、適正な給付を実施し、経済的負担を軽減していきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 福祉課 事業 障がい者福祉事業費 予算科目 01一般会計・03 民生費・01社会福祉費・02障がい者福祉費

施策 1－7－1 障がい者の自立支援と社会参加の推進 創生総合戦略 該当なし

事業概要

障がい者相談員を委嘱するとともに、タクシー利用券の交付、紙おむつの給付、身体障がい児・者の医療費の助成、人工透析患者通院交通費の助成、在宅酸素療法者支援、障がい者世帯の除雪支援を実施します。

目的

障がいのある人が心身の状況や生活環境に応じた多様なサービスにより、自宅や地域、施設で安心して生活を営むため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	要件の該当する障がい者全員にサービスが提供できる状態	申請者全員にサービスを提供できる状態	申請者全員にサービスを提供しました。
活動指標	更生医療給付割合	100 %	100 %
	タクシー券交付割合	100 %	100 %
事業費（千円）		48,669	40,063

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

障がいのある人が心身の状況や生活環境に応じたサービスを受けられるよう、手帳の交付時に障がい者福祉制度の説明や資料配布を行い周知を図り、該当するサービスの案内を行います。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 福祉課 事業 地域生活支援事業費 予算科目 01一般会計・03 民生費・01社会福祉費・02障がい者福祉費

施策 1－7－1 障がい者の自立支援と社会参加の推進 創生総合戦略 該当なし

事業概要

日常生活用具の給付、成年後見制度の利用支援、訪問入浴サービス、移動支援、日中一時支援等の事業を実施します。

目的

障がい者及び障がい児が基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障がい者等の福祉の増進を図るとともに、障がいの有無に関わらず市民が相互に人格と個性を尊重し安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	要件の該当する障がい者全員にサービスが提供できる状態	申請者全員にサービスを提供できる状態	申請者全員にサービスを提供しました。
活動指標	日常生活用具給付割合	100 %	100 %
	訪問入浴サービス利用割合	100 %	100 %
事業費（千円）		36,219	31,073

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

自立支援協議会、身体障がい者福祉協会、基幹相談支援センターとの連携を図り、適正なサービスを提供し、障がい者の生活を地域全体で支援する体制の整備のため障がい者が参加できる事業や、啓発事業を実施します。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 福祉課 事業 障がい福祉サービス給付費 予算科目 01一般会計・03 民生費・01社会福祉費・02障がい者福祉費

施策 1－7－1 障がい者の自立支援と社会参加の推進 創生総合戦略 該当なし

事業概要

在宅生活の支援として、居宅介護、同行援護、重度訪問介護の各サービス、入所や通所による日中活動の支援として、療養介護、生活介護、短期入所、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援の各サービス、施設、グループホームでの夜間の支援として、施設入所支援、共同生活援助の各サービスを利用できるよう給付費を支給します。

目的

障がいのある方が日常生活に必要な支援を受けられる「介護給付」や自立した生活に必要な知識や技術を身につける「訓練等給付」といった必要不可欠なサービスを提供するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標 活動指標			
事業費（千円）		698,139	681,219

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

障がいのある人の特性に応じた適正なサービスが提供できるよう、相談支援事業所との連携強化を図ります。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属

福祉課

事業

身体障がい者・知的障がい者福祉給付費

予算科目

01一般会計・03 民生費・01社会福祉費・06福祉給付費

施策

1－7－1 障がい者の自立支援と社会参加の推進

創生総合戦略

該当なし

事業概要

障がい者への生活支援事業で、精神または身体に重度の障がいがあるため、日常生活において常時特別の介護を必要とする状態にある人を対象に特別障害者手当（20歳以上）、障害児福祉手当（20歳未満）の支給及び日常生活において常時特別の介護を必要とする状態にある20歳未満の人を扶養している保護者に支給される特別児童扶養手当に関する事務を行います。

目的

障がい者、障がい児を養育する保護者に手当を支給し支援することで、障害者福祉の向上に寄与するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標 活動指標			
事業費（千円）		22,911	22,721

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

手帳の交付時に障がい者福祉制度の周知を図り、障がい者、障がい児を養育する保護者に手当を支給し支援します。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	福祉課	事業	障がい児施設給付・医療費	予算科目	01一般会計・03 民生費・02児童福祉費・02児童措置費
施策	1－7－1 障がい者の自立支援と社会参加の推進			創生総合戦略	該当なし

事業概要

児童発達支援、医療型児童発達支援、放課後等デイサービス、肢体不自由児通所医療費、障害児相談支援の各サービスを利用できるよう、給付費を支給します。

目的

障がいのある児童に対し、身近な地域で障がい特性に応じた専門的な支援を適用するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標			
活動指標			
事業費（千円）		209,408	202,543

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

障がいのある児童に対し、児童発達支援、放課後等デイサービスや保育所等訪問など身近な地域で障がい特性に応じたサービスを提供できるよう、関係機関及び相談支援事業所と連携強化を図ります。

所属

福祉課

振興計画

第1章 笑顔 「みんなが笑顔で輝けるまちをつくれます」
1-8 低所得者福祉

施策

1-8-1 生活困窮者等の自立に向けた支援の推進

創生総合戦略

該当無し

方針

生活保護に至る前の段階でひきこもり、失業、病気、多重債務等複合的問題を抱える人たちの相談支援体制の充実を図ります。また、生活保護受給者への自立に向けた就労支援等を実施します。

目標

1 生活困窮者等の早期把握と継続的な支援

民生児童委員、関係機関等との連携を強化し、地域における生活困窮者の早期把握に努め、一人ひとりの状況に応じた適切な支援を計画的、継続的に行うとともに、新たに子どもの学習・生活支援を実施します。

また、公共職業安定所との連携により、求職活動から就職後のフォローまで個別支援を行うなどの就労支援を推進します。

実績

1 生活困窮者等の早期把握と継続的な支援

(1) 社会福祉協議会と毎月情報交換会を行い、生活困窮者等を早期に把握して、生活状況に応じた切れ間のない支援を実施しました。つなぎ支援の状況は、市から社会福祉協議会へ17件の支援（フードバンク、福祉資金貸付等）を依頼し、社会福祉協議会から市へ2件の支援要請（生活保護相談）を受けました。公共職業安定所との連携事業（生活保護受給者等就労自立促進事業）へ新たに2名が参加、5名が収入増加により生活保護から自立しました。また、子どもの学習・生活支援については、28名の利用がありました。

中間アウトカム指標	単位	令和6年度実績	令和7年度実績	令和8年度実績	令和9年度実績
稼働収入増による自立世帯数の割合	%	21	—	—	—

指標の変化に対する分析

稼働収入増による自立世帯は5件で、前年より1件の減少となりましたが、就労可能と判断された被保護者に対して、就労支援員及びケースワーカーが、求職活動に係る助言や支援を継続的に行っているためと考えられます。

目標の実現に向けた今後の取組

生活保護受給者等就労自立促進事業を継続するとともに、公共職業安定所での積極的な求職活動を促し、稼働収入増を目指します。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	福祉課	事業	灯油購入費等助成事業費	予算科目	01一般会計・03 民生費・01社会福祉費・01社会福祉総務費
施策	1－8－1 生活困窮者等の自立に向けた支援の推進			創生総合戦略	該当なし

事業概要

本市における低所得世帯の冬期間の暖房費等支出による経済的負担の軽減を図るため、対象世帯1世帯あたり5千円の支給を実施します。

目的

山形県低所得者世帯の冬の生活応援事業と連携し、本市低所得者世帯の冬期間の生活の安定と経済的負担の軽減を図るため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	対象世帯の経済的負担の軽減が図られる状態	対象世帯の経済的負担が軽減された状態	対象世帯の99.2%へ支給し、低所得世帯の経済的負担が軽減しました。
活動指標	対象世帯への通知率	100 %	100 %
事業費（千円）		21,582	19,057

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

山形県との連携により、低所得世帯の冬期間の生活と経済的負担の軽減を図ってまいります。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	福祉課	事業	低所得者支援及び定額減税補足給付金事業費	予算科目	01一般会計・03 民生費・01社会福祉費・01社会福祉総務費
施策	1－8－1 生活困窮者等の自立に向けた支援の推進		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用して、物価高騰の現下の状況に鑑み、定額減税の恩恵を十分に受けられないと見込まれる所得水準者等を支援するため、6年度の新たな住民税非課税世帯と定額減税を受けられない住民税均等割のみ課税世帯に10万円を給付、さらに該当世帯の18歳以下の子1人につき5万円を給付します。

また、定額減税しきれないと見込まれる所得税及び住民税の課税者に調整給付を行います。

目的

低所得世帯や定額減税を十分に受けられないと見込まれる所得水準者等を支援するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標 活動指標			
事業費（千円）		345,638	290,702

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

対象世帯の経済的負担の軽減を図り、生活を支援します。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 福祉課 事業 物価高騰対策給付金事業費 予算科目 01一般会計・03 民生費・01社会福祉費・01社会福祉総務費

施策 1－8－1 生活困窮者等の自立に向けた支援の推進 創生総合戦略 該当なし

事業概要

物価高騰の負担感が大きい低所得世帯の負担を軽減するため、住民税非課税世帯に3万円を給付するとともに、該当世帯の18歳以下の子1人につき2万円を給付します。

目的

物価高騰の負担感が大きい低所得世帯の経済的負担を軽減するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標 活動指標			
事業費（千円）		101,000	83,466

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き今後の給付事業を通して低所得者世帯の負担軽減を図ってまいります。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 福祉課 事業 生活保護総務費 予算科目 01一般会計・03 民生費・03生活保護費・01生活保護総務費

施策 1－8－1 生活困窮者等の自立に向けた支援の推進 創生総合戦略 該当なし

事業概要

生活に困窮するすべての要保護者に対し、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行います。

- （１）生活保護システムクラウドサービス利用
- （２）生活保護面接相談員兼被保護者就労支援員の配置（会計年度任用職員）
- （３）被保護者健康管理支援事業

目的

健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	生活保護を必要とする世帯が、確実に保護を受けている状態	保護が必要な世帯が、保護を受けている状態	保護が必要な世帯に、保護を適用しました。
活動指標	生活保護世帯訪問調査日数（月）	12 日	10 日
事業費（千円）		15,851	15,071

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

ケースワーカーの訪問活動により生活状況の把握に努め、病院、介護事業所、職業安定所などの関係者と連携しながら生活支援や就労支援を積極的に進めます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 福祉課 事業 生活困窮者自立支援費 予算科目 01一般会計・03 民生費・03生活保護費・01生活保護総務費

施策 1－8－1 生活困窮者等の自立に向けた支援の推進 創生総合戦略 該当なし

事業概要

生活保護受給者以外の生活困窮者（失業者、多重債務者、引きこもり等）に対して、自立に向けた早期で包括的な支援を行います。

目的

生活困窮者の課題は多様で複合的であることから、「制度の狭間」に陥らないよう、就労の課題、心身の不調、家計の問題、家族問題などの多様な問題に対応する「第2のセーフティネット」を拡充し、生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	生活自立支援センターの支援により、生活保護に陥らない状態	生活自立支援センターを開設している状態	生活自立支援センターを開設しました。
活動指標	住居確保給付金給付率	100 %	100 %
事業費（千円）		17,949	16,776

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

生活自立支援センター（社会福祉協議会）と連携し、生活困窮者の情報共有を行い、切れ目ない、必要な支援を実施します。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属

福祉課

事業

生活保護援護事業費

予算科目

01一般会計・03 民生費・03生活保護費・02扶助費

施策

1－8－1 生活困窮者等の自立に向けた支援の推進

創生総合戦略

該当なし

事業概要

生活保護受給者が健康で文化的な生活ができるよう、生活扶助、医療扶助、介護扶助などの扶助費を支給します。

目的

市民の健康で文化的な暮らしを保障するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標 活動指標			
事業費（千円）		289,739	268,821

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

ケースワーカーの訪問活動により生活状況の把握に努め、病院、介護事業所、職業安定所などの関係者と連携しながら生活支援や就労支援を積極的に進めます。

所属

観光・ブランド推進課

振興計画

第1章 笑顔 「みんなが笑顔で輝けるまちをつくります」
1-9 シティプロモーション

施策

1-9-1 市民と仕掛ける戦略的シティプロモーション

創生総合戦略

2 かみのやま「来てよし」プロジェクト 関係人口増につながる交流の場づくり シティプロモーションの強化による関係人口増加と交流の推進

方針

市民自ら情報発信し共有する土台をつくり、地域に対する愛着や関心を高めることで地域の当事者を着実に増やします。また、多様な手段によって本市との接触機会を増やし、来訪や交流、購買促進等によって本市と「縁」を持つ人の輪を広げます。

目標

1 本市らしい地域ブランドの確立

「かみのやまシティプロモーション活動指針」の浸透を図り、市民の地域への誇り愛着といったシビックプライドを醸成するとともに、地域資源の付加価値を高めながら一貫性のある本市のイメージを発信・共有できる土壌をつくります。

2 市民と行政の双方による情報発信強化

市民がまちに積極的に関わる機会と、市民と行政が互いに情報を発信し共有できる土台をつくることで、本市を「自慢したい」と思える市民を着実に増やしていくサイクルをつくります。

3 本市と縁ある関係人口の拡大

様々な情報ツールの活用によってまちの魅力を効果的に伝えとともに、ふるさと納税寄附者やかみのやまファンクラブ、市外に住む本市出身者等との縁をさらに深め、持続的に本市と関わりを持つファンの拡大につなげます。

実績

1 本市らしい地域ブランドの確立

(1) 「かみのやまシティプロモーション活動指針」に基づくシンボルデザインの積極的活用と関連プロモーション動画の発信により、市内外に向けて本市の良好なイメージを訴求しました。【SNS年間動画総再生数24万回】

2 市民と行政の双方による情報発信強化

(1) 自ら地域情報等を発信する市民グループ「まち部」及び市内生産者と連携し、SNSへの記事投稿やファンクラブ交流会への出演など、市民主体のPRと機会づくりに取り組みました。

3 本市と縁ある関係人口の拡大

(1) 本市に関心を持つ人の増加を目指し、本市の魅力を伝えるシティプロモーションのウェブサイトや動画を公開したほか、かみのやまファンクラブ会員等を対象とした交流会の開催を通じて、特産品や歴史・文化などを直接PRしました。

中間アウトカム指標	単位	令和 6 年度実績	令和 7 年度実績	令和 8 年度実績	令和 9 年度実績
S N S ※ 3 で投稿された上山市関連の情報数 ※ 3 X とインスタグラムにおいて「#上山市」で検索を絞る	件	83,000	—	—	—
ふるさと納税返礼品を提供する事業者の参加継続率	%	100	—	—	—

指標の変化に対する分析

S N S で投稿された上山市関連の情報数については、同程度の人口規模の近隣市では約 9 万件となっていることから、一層取組を強化し、本市との情報接触度を高めていく必要があります。ふるさと納税返礼品を提供する事業者の参加継続率においては、中間事業者や市内事業者との連携により、本制度に対する協力体制が整っていると捉えています。

目標の実現に向けた今後の取組

本市シティプロモーションのさらなる推進に向けて、ウェブサイトの積極的な活用や「まち部」による市民主体の活動を支援するとともに、ふるさと納税やファンクラブ事業等を通じて、本市と多様に関わる人々の拡大につなげます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	観光・ブランド推進課	事業	ふるさと納税推進事業費	予算科目	01一般会計・02 総務費・01総務管理費・06企画費
施策	1－9－1 市民と仕掛ける戦略的シティプロモーション			創生総合戦略	2 かみのやま「来てよし」プロジェクト 関係人口増につながる交流の場づくり シティプロモーションの強化による関係人口増加と交流の推進

事業概要

寄附者に対し本市の優れた特産品や市内体験型の返礼品を設けることで、交流人口の拡大や特産品のPRにつなげます。

目的

本市の魅力を伝える多様な返礼品を通じて、市の知名度や地域活力の維持・向上につなげるため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	本市ふるさと納税が全国に知れ渡り、多くの寄附を受領している状態	本市ふるさと納税が認知されている状態	国の制度改正に準じた返礼品の寄附金改定やサクランボの不作が影響し、前年度と比較して寄附受入額が減少しましたが、市内事業者と連携し、寄附者の嗜好に応じた返礼品の提供やファンクラブ会員等へのPRを進めました。
活動指標	返礼品登録事業者の新規登録件数	10 件	10 件
事業費（千円）		1,133,985	1,104,950

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

魅力的な返礼品開発及び適正な管理に努め、地域経済の発展を図るとともに、本市に対する理解の深化と好意獲得につなげていきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 観光・ブランド推進課 事業 シティプロモーション推進事業費 予算科目 01一般会計・02 総務費・01総務管理費・06企画費

施策 1－9－1 市民と仕掛ける戦略的シティプロモーション 創生総合戦略 2 かみのやま「来てよし」プロジェクト 関係人口増につながる交流の場づくり
シティプロモーションの強化による関係人口増加と交流の推進

事業概要

本市の魅力ある地域資源を全国へPRするため、本市ファンクラブの運用を図り、特産品の紹介や購買、市内イベント等への誘導を図ります。また、本市イメージをより分かりやすく効果的に発信するためのブランディングを進め、統一性の持つプロモーションを展開することでターゲットへの訴求力を高めます。

目的

本市の認知度を高め、特産品の販路拡大や多様な関わりを持つ関係人口の拡大を図るため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	本市の魅力ある地域資源が全国へ知れ渡り、関係人口が拡大した状態	本市の魅力を伝える効果的なPRにより、本市とつながりを持つ人が全国に増加している状態	ふるさと納税イベントへの出展や、かみのやまファンクラブ会員等との交流会を通じて、本市のPR及びファンクラブ会員加入の促進を図りました。また、自ら地域情報等を発信する市民グループ「まち部」やSNSによるプロモーションも積極的に展開し、本市とつながるユーザーを全国に広げました。
活動指標	ファンクラブ会報等の発行回数	4 回	4 回
	ファンクラブイベント等の開催回数（2年に1回）	1 回	1 回
事業費（千円）		9,935	7,230

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

各種イベント開催に係る必要経費が想定以下であったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

ふるさと納税の寄附を中心に据えたファンクラブ会員の要件を見直し、より幅広い方々が加入可能な体制を整えるとともに、本市に興味関心を持つ人との交流の密度を上げながら、かみのやまファンの拡大につなげます。

所属

庶務課

振興計画

第1章 笑顔 「みんなが笑顔で輝けるまちをつくれます」
1-10 国内外交流

施策

1-10-1 参加しやすい市民交流の実施

創生総合戦略

該当なし

方針

国内外の姉妹都市、友好都市との市民交流を推進していきます。

目標

1 参加しやすい市民交流の実施

国内外の姉妹都市、友好都市との市民交流については、対面だけでなく新たにオンラインの手法も取り入れるなど、より多くの市民が参加しやすい新たな形の交流も実施します。

また、国内外の姉妹都市、友好都市の話題等を市の広報紙やホームページ、SNS等に掲載し広く情報提供することで、他文化への理解を深め交流への参加を促します。

実績

1 参加しやすい市民交流の実施

(1) 友好都市ドナウエッシンゲン市の学生訪問団が来市し、学生やホストファミリーが交流を行いました。

(2) 海の子山の子交歓会を開催し、名取市会場、上山市会場の2回にわたって両市の小中学生などが交流を行いました。

中間アウトカム指標	単位	令和6年度実績	令和7年度実績	令和8年度実績	令和9年度実績
国内外の都市との交流事業参加者	人	138	—	—	—

指標の変化に対する分析

令和6年度は友好都市ドナウエッシンゲン市の学生訪問団の来市に伴い、学生・引率10人、ホストファミリー32人、中高生3人が交流事業に参加しました。海の子山の子交歓会については、名取市会場に47人、上山市会場に46人が参加しました。コロナ禍での事業休止が続いていましたが、学生訪問団の受け入れを6年ぶりに実施したことなどにより友好都市との交流事業参加者は増加しました。

目標の実現に向けた今後の取組

友好都市盟約30周年を記念する市民訪独団の派遣のほか、隔年で実施している学生訪問団の相互派遣や友好協会の交流事業の推進、海の子山の子交歓会の開催、各事業の広報を通して友好都市との市民交流を推進していきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	庶務課	事業	国際交流推進費	予算科目	01一般会計・02 総務費・01総務管理費・01一般管理費
施策	1－10－1 参加しやすい市民交流の実施			創生総合戦略	該当なし

事業概要

海外友好都市ドイツ連邦共和国ドナウエッシンゲン市との交流を通して、国際意識の高揚と国際化に対応した人材を育成します。
また、国際交流を推進する活動を応援し、市民が国際的な感覚を養ったり、相互理解を深めたりすることができる環境を整えます。

目的

海外友好都市ドナウエッシンゲン市をはじめとする国際交流の推進により、互いの地域のさらなる活性化を図るため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	市民レベルでの交際交流が進んでいる状態	交流や理解を深める講座等を開催する状態	ドナウエッシンゲン市の学生訪問団受入事業を実施しました。
活動指標	産業まつりド市コーナー出展や国際交流に関する講座の開催回数	1 回	0 回
	オンラインによる交流への市民の参加者数	15 人	0 人
事業費（千円）		1,899	1,372

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

ドナウエッシンゲン市の学生訪問団が来市し、対面形式での交流が可能であったことからオンライン形式での交流は実施しませんでした。産業まつりでのコーナー出展は会場の都合上令和6年度の開催は見送りました。

目標の実現に向けた今後の取組

学生訪問団の相互派遣や講座の開催などを通して、交流や理解を深める機会を創出していきます。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	生涯学習課	事業	青少年費	予算科目	01一般会計・10 教育費・05社会教育費・03青少年女性費
施策	1－5－1 生涯学習環境の整備 1－10－1 参加しやすい市民交流の実施			創生総合戦略	該当なし

事業概要

青少年育成のための各種事業を実施します。

目的

青少年育成に関する各種事業を展開し、心豊かな子どもの育成と郷土愛のある青年づくりを推進します。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	青少年の健全育成の推進が図られている状態	青少年の健全育成の推進が図られている状態	青少年の健全育成を推進しました。
活動指標	ジュニアリーダーあすなろ会員数	12 人	22 人
	他自治体との青少年交流事業回数	2 回	2 回
	二十歳のつどい参加率	75 %	73.6 %
事業費（千円）		4,864	3,768

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

二十歳のつどいの記念品や海の子山の子交歓会の宿泊費用等において、想定より安価であったためです。ジュニアリーダーあすなろ会員数については、北中及び南中の3年生にあすなろについて説明を行い、また会員からの紹介もあって増となりました。

目標の実現に向けた今後の取組

青少年の健全育成のため、引き続き各取組・各事業の魅力ある企画をしていきます。

所属

市政戦略課

振興計画

第1章 笑顔 「みんなが笑顔で輝けるまちをつくれます」
1-11 多様性社会

施策

1-11-1 多様性を認め合う社会の実現

創生総合戦略

該当無し

方針

多様性を認め合う社会の実現に向け、意識の向上などを図ります。

目標

1 多様性を尊重した社会の環境づくりと意識醸成

LGBTQなど、様々な偏見や差別をなくすため、広報紙やパネル展等による啓発活動や情報の発信を行い、固定された偏見や思い込みを解消するとともに、配偶者等からの暴力の根絶に向けた啓発や関係機関との連携を強化します。

実績

1 多様性を尊重した社会の環境づくりと意識醸成

(1) 第2次上山市男女共同参画計画に性の多様性の観点を追加した「上山市男女共同参画・性の多様性理解増進に関する計画」を策定しました。また、男女共同参画に関するパネル展・女性に対する暴力をなくす運動期間パネル展とパネル展を2回開催するとともに、上山城のパープルライトアップも開催しました。他にも、通年を通して男女共同参画や性の多様性に関する情報提供を行いました。

中間アウトカム指標	単位	令和6年度実績	令和7年度実績	令和8年度実績	令和9年度実績
市で設置する審議会等の女性割合	%	23.1	—	—	—
市民のLGBTQの認知度	%	66.2	—	—	—

指標の変化に対する分析

審議会等の女性割合について、各団体から委員を推薦していただいておりますが、各団体に所属している女性割合が低く、男性委員の割合が多くなるなどに偏りが出ています。各団体から女性委員参入の呼びかけを実施しておりますが、想定している数値に達していない現状であります。

市民のLGBTQの認知度について、国の調査よりも高い割合ではありますが、認知度はまだ7割未満と、より一層の周知・啓発活動を行う必要があります。

目標の実現に向けた今後の取組

より多くの来訪者が見込まれる場所でのパネル展の開催や、市報・HP及びSNS等の様々な媒体を使った情報提供を行うなど、「上山市男女共同参画・性の多様性理解増進に関する計画」に基づく各種施策を推進し、多様性を尊重した社会の環境づくりと意識醸成を図ります。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	福祉課	事業	人権啓発活動事業費	予算科目	01一般会計・03 民生費・01社会福祉費・01社会福祉総務費
施策	1－11－1 多様性を認め合う社会の実現			創生総合戦略	該当なし

事業概要

山形人権擁護委員協議会、人権擁護委員協議会上山支部に補助金を交付します。花の肥培管理を通し、児童生徒の人権意識の向上と地域への啓発を目的として、市内小中学校3校へ希望する花苗・種子等の購入代金を補助し、人権擁護委員の協力を得て、市内の小中学校を巡回しています。

目的

小中学生の時から人権教育に取り組み、互いの人権を尊重し合う社会の実現を妨げ、人権を侵害するような暴力や虐待、職場での嫌がらせ等の防止・根絶を図るため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標	市民の人権運動が向上している状態	市民の人権意識が向上している状態	山形人権擁護委員協議会上山市部会に補助金を交付し、人権相談・啓発活動を支援しました。また、市内小中学校3校に補助金を交付して人権の花運動の推進を依頼しました。
活動指標	人権の花運動を実施した学校数	3 校	3 校
事業費（千円）		218	215

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き山形人権擁護委員協議会上山市部会に補助金を交付し、人権相談・啓発活動を支援するとともに、市内の小中学校3校で、命の大切さや互いに思いやる心、感謝する心の大切さを学ぶことを目的に、学校・人権擁護委員と連携し、人権の花運動を実施します。

令和6年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属

市政戦略課

事業

企画調整管理費

予算科目

01一般会計・02 総務費・01総務管理費・06企画費

施策

1-11-1 多様性を認め合う社会の実現 6-1-1 まちづくり活動への参画の推進 6-3-1 行政サービスの効率化と改善の推進 6-3-3 広域行政の推進

創生総合戦略

該当なし

事業概要

市政全般における企画調整のため、次の事業を実施します。

①第8次上山市振興計画及び第2期上山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の運用管理 ②第3期上山版「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定 ③国等への要望活動 ④第3次上山市男女共同参画計画の策定 ⑤その他諸経費（関係団体負担金等）

目的

「第8次上山市振興計画」、「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、各種施策を実行するとともに、PDCAサイクルに基づく効果的なマネジメントを実施するとともに、新たに策定する第3期上山市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び第3次上山市男女共同参画計画を作成するため。

区分		令和6年度予算	令和6年度実績
目標			
活動指標			
事業費（千円）		23,703	18,994

理由 ※令和6年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

各課に振興計画を意識した政策形成及び事業周知を促すとともに、第8次上山市振興計画の実効性を高めるためPDCAサイクルを引き続き実施してまいります。